SONY

3-283-148-**02**(1)

CD/DVD プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

DVP-NS700H

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～8 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
3 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

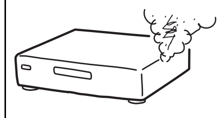
設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **電源を切る**

❷ **電源プラグをコンセントから抜く**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

使用上のご注意

設置について

- 次のような場所には置かないでください。
  - 湿気の多い所、風通しの悪い所。
  - 直射日光が当たる所、温度が高い所。
  - 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。その場合は離して使用してください。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。
- 本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。
- 本機やディスクを、電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いもののそばに置かないでください。
- 本機に重いものをのせないでください。
- 機銘板は本機の背面に表示してあります。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま、本機を動かさないでください。
ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスク、ディスククリーナーについて

レンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー（湿式またはスプレー式含む）は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

CD/DVDプレーヤーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビや液晶テレビなどでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

目次

この取扱説明書のよみかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- 市販の DVD、DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（+VR モード）と DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（VR モード、ビデオモード）を総称して DVD と表現することもあります。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVDVideo	市販の DVD ビデオと DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（+VR モード）、DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（ビデオモード）で使える機能
DVDVR	DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL（VR モード）で使える機能
VCD	ビデオ CD（スーパー VCD あるいはビデオ CD フォーマットまたはスーパー VCD フォーマットの CD-R/CD-RW を含む）で使える機能
CD	音楽用 CD、音楽用 CD フォーマットの CD-R/CD-RW で使える機能
DATA CD	CD-ROM/CD-R/CD-RW の MP3（エムピースリー）* 音声トラックと JPEG 画像ファイルで使える機能
DATA DVD	DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL/DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL の MP3（エムピースリー）* 音声トラックと JPEG 画像ファイルで使える機能

* MPEG-1 Audio Layer Ⅲ：MPEG と国際標準化機構（ISO）/IEC（国際電気標準会議）によって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

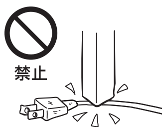
警告・注意

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

本機は国内専用です

交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。

警告・注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

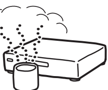
➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

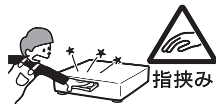
トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。



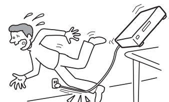
幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



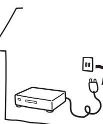
コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

ネジや本体端子キャップは乳幼児の手の届かない所に置く

乳幼児がネジや本体端子キャップを誤飲しないようにご注意ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

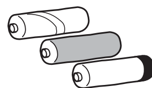
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠警告

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

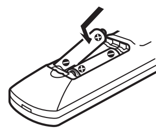
➡ 電池の品番を確かめ、お使いください。



＋と－の向きを正しく入れる

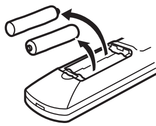
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

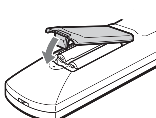
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡ マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。



再生できるディスクについて

ディスクの種類	
市販の DVD	DVD VIDEO
DVD-RW/-R	DVD RW / DVD R R4.7
DVD+RW/+R/ +R DL	RW DVD+ReWritable / RW DVD+R / RW DVD+R DL
ビデオ CD/ 音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-RW/-R	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc Recordable

"DVD+RW"、"DVD-RW"、"DVD+R"、"DVD+R DL"、"DVD-R"、"DVD ビデオ"、"CD" のロゴは商標です。

CD/DVD についてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW を再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオ CD フォーマット
- ISO9660* レベル 1/ レベル 2/Joliet 準拠の MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル
- KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）

* 国際標準化機構（ISO）が制定した CD-ROM の論理フォーマット。

本機は以下のフォーマットで記録した DVD-ROM/DVD+RW/DVD-RW/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R/DVD-R DL を再生できます。

- UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠の MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- このページで記載のフォーマット以外で記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW
- フォト CD フォーマットで記録した CD-ROM
- CD-EXTRA のデータ部分
- DVD オーディオ
- スーパーオーディオ CD の HD（ハイデンシティ）レイヤー
- BD
- HD DVD
- AVCHD 対応 DVD カムコーダーで録画したディスク

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では対応しない地域番号（リージョンコード）の市販の DVD
- NTSC 以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク
  （本機が NTSC カラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

ご注意

- **DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL、DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL、または CD-RW/CD-R 再生時のご注意**
  DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL、DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL、または CD-RW/CD-R ドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVD 書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

➡ 次のページへつづく

DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL によっては、適切にファイナライズ作業がされていても本機のいくつかの再生機能が使えないことがあります。その場合には、ノーマル再生でご覧下さい。また、パケットライト方式で作成されたデータ CD/ データ DVD には、再生できないものがあります。

- **CD 再生時のご注意**
  本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。
- **DualDisc についてのご注意**
  DualDisc とは DVD 規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
  なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。市販の DVD のパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

DVD、ビデオ CD 再生操作について

DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

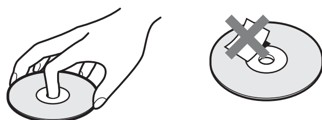
著作権について

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

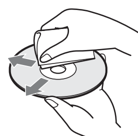
本製品の日本語表示には、株式会社リコー所有の文字フォントを使用しています。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。表面には触らないでください。ディスク上の指紋や埃、傷は故障の原因となることがあります。



- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

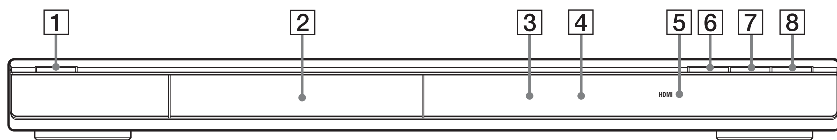


- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面

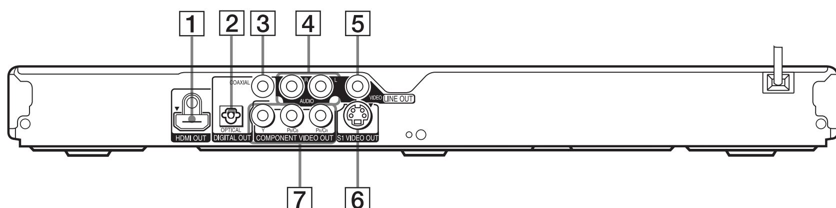


1 I/⏻（電源）ボタン（28）
2 ディスクトレイ（28）
3 表示窓（13）
4 IR（リモコン受光部）（24）
5 HDMI* ランプ　(21、67、68)
HDMI OUT 端子が HDMI または DVI（Digital Visual Interface）入力端子付の HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）対応機器に正しくつながれているときに点灯します。
6 ⏏（ディスク取出し）ボタン（28）
7 ►（再生）ボタン（28）
8 ■（停止）ボタン（29）

* 本機には HDMI™ 技術（High-Definition Multimedia Interface）が採用されています。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

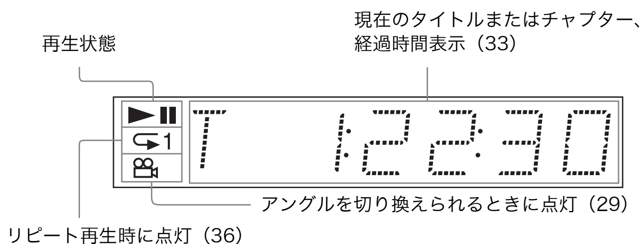
本体裏面



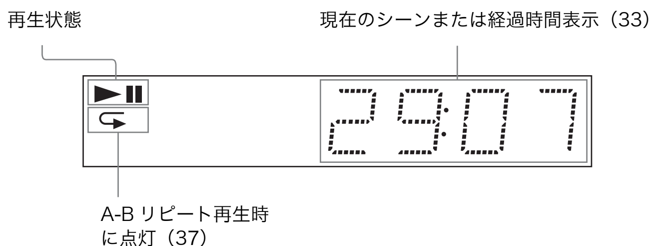
1 HDMI OUT 端子（19）
2 DIGITAL OUT OPTICAL（音声デジタル出力 (光)）端子（22）
3 DIGITAL OUT COAXIAL（音声デジタル出力（同軸））端子（22）
4 LINE OUT AUDIO L/R（音声出力）端子（22）
5 LINE OUT VIDEO（映像出力）端子（19）
6 S1 VIDEO OUT（S1 映像出力）端子（19）
7 COMPONENT VIDEO OUT Y、P_B/C_B、P_R/C_R（コンポーネント映像出力（Y、P_B/C_B、P_R/C_R））端子（19）

本体の表示窓

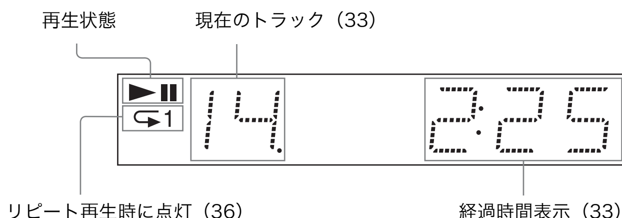
DVD 再生中



ビデオ CD の PBC（Playback Control）再生中（31）



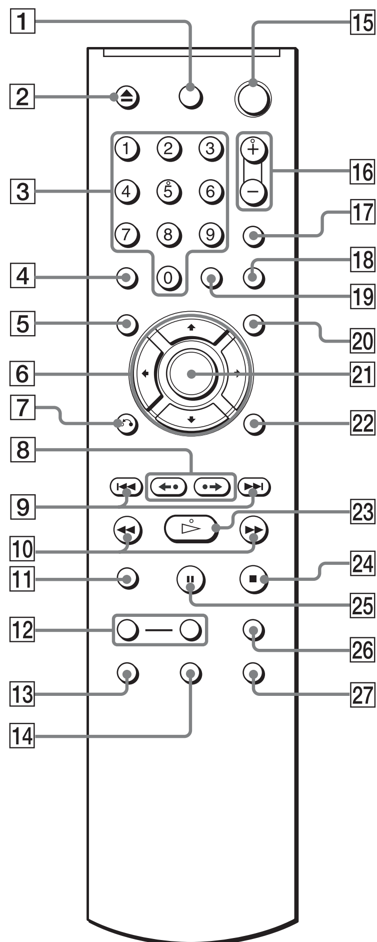
CD/ データ CD（MP3 音声）/ データ DVD（MP3 音声）再生中またはビデオ CD 再生中（PBC 以外）



ヒント
設定画面の「視聴設定」で表示窓の明るさを調節できます（64 ページ）。

➡ 次のページへつづく

リモコン

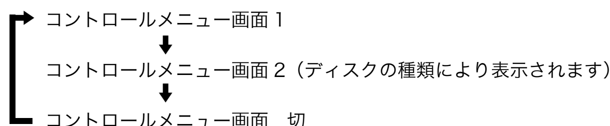


1 テレビ電源ボタン（25）
2 ⏏ 開 / 閉ボタン（29）
3 数字ボタン*（31）
4 クリアボタン（34）
5 トップメニューボタン（31）
6 ←/↑/↓/→ ボタン（29）
7 ↶ リターンボタン（31）
8 ←• ◀II /II▶ •→ フラッシュ / ステップボタン（29、45）
9 ⏮/⏭（前 / 次）ボタン（29）
10 ◀I ◀◀/▶▶ I▶（スキャン / スロー）ボタン（44）
11 ズームボタン（29、55）
12 遅見 / 早見ボタン（29）
13 音声ボタン（49）
14 字幕ボタン（29、55）
15 電源ボタン（28）
16 音量 +/- ボタン*（25）
17 入力切換ボタン（25）
18 ピクチャーナビボタン（47、55）
19 時間 / テキストボタン（32）
20 メニューボタン（31）
21 決定ボタン（26）
22 画面表示ボタン（15）
23 ▷（再生）ボタン*（28）
24 ■（停止）ボタン（29）
25 II（一時停止）ボタン（29）
26 サラウンドボタン（50）
27 アングルボタン（29）

* 凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ、音量ボタンは「+」のみ）。操作の目印としてお使いください。

コントロールメニュー画面の見かた

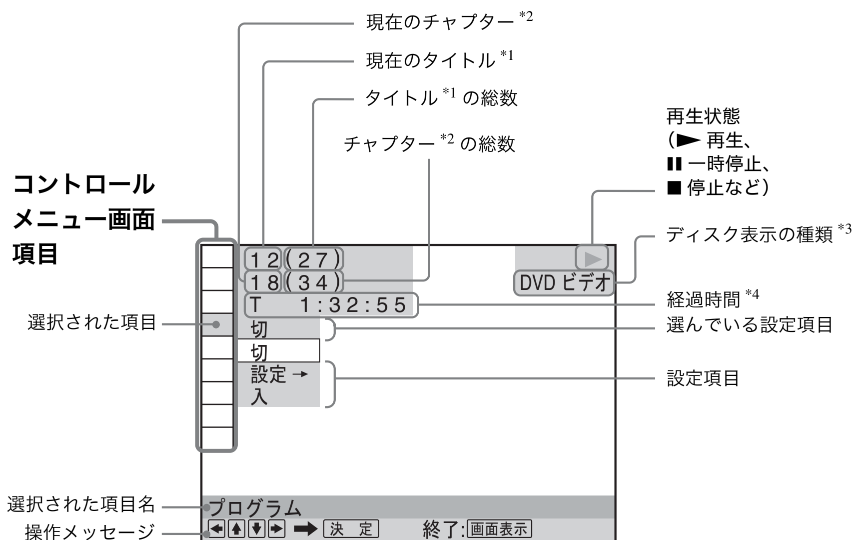
本機で機能を選んだり情報を表示したりするには、コントロールメニュー画面を使います。画面表示ボタンを押して表示したり、繰り返し押して画面を以下のように切り換えます。



コントロールメニュー画面

コントロールメニュー画面 1 と 2 では表示される項目が変わります。

例：DVD ビデオ再生時のコントロールメニュー画面 1



*1 ビデオ CD（PBC 再生時）のときはシーン、ビデオ CD/CD のときはトラック、データ CD/ データ DVD のときはアルバムが表示されます。

*2 ビデオ CD のときはインデックス、データ CD/ データ DVD のときは MP3 音声トラックあるいは JPEG 画像ファイルの番号が表示されます。

*3 スーパー VCD は、「SVCD」と表示されます。

*4 JPEG 画像ファイルのときは日付が表示されます。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを押します。

➡ 次のページへつづく

コントロールメニュー画面項目一覧

項目	項目名・機能
	タイトル / シーン / トラック 再生するタイトルやシーン、トラックを選びます。
	チャプター / インデックス 再生するチャプターやインデックスを選びます。
	トラック 再生するトラックを選びます。
	時間 / テキスト 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。
	オリジナル / プレイリスト 再生するタイトルの種類、オリジナルのタイトルあるいは編集して作成された プレイリストを選びます。（VR モードの DVD のみ）
	プログラム タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生します。
	シャッフル タイトルやチャプター、トラックをランダム（無作為）な順番で再生します。
	リピート ディスク全体（全タイトル / 全トラック / 全アルバム）または 1 つのタイトル / チャプター / トラック / アルバムだけを繰り返し再生します。
	A-B リピート 再生したい部分を指定して、繰り返し再生します。
	お好み画質モード 本機からの映像信号を調整します。映像に合わせて画質を選ぶことができます。
	シャープネス 画像の輪郭を強調して、より鮮明な映像にします。
	画音同期調整 映像・音声間のずれを調整します。
	視聴制限 本機での再生を禁止する設定をします。
	設定 クイック設定（26 ページ） 画面表示の言語や、つないだテレビに合う画面の横縦比、出力する音声信号を設定します。 カスタム設定（60 ページ） 簡易クイック設定の項目に加え、さまざまな設定をします。 リセット 「設定」での設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。
	アルバム 再生する MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを含んだアルバムを選びます。
	ファイル 再生する JPEG 画像ファイルを選びます。
	日付 画像がデジタルカメラで撮影された日付を表示します。
	スライド送り時間 スライドが画面に表示される時間を指定します。
	スライド効果 スライドショーの間、使用するスライド切り換え時の効果を選びます。
	音声映像選択モード データ CD あるいはデータ DVD を再生するとき、再生するデータの種類：MP3 音声トラック（音声）、または JPEG 画像ファイル（映像）、あるいは両方（自動）を選びます。

ヒント

「切」以外を選んでいるとき、コントロールメニューアイコンが緑に点灯します。
→ （「プログラム」、「シャッフル」、「リピート」、「A-B リピート」、「シャープネス」のみ）。「オリジナル / プレイリスト」では、「プレイリスト」を選んでいるときに、アイコンが緑に点灯します。「お好み画質モード」では、「スタンダード」以外の設定を選んでいるときに、アイコンが緑に点灯します。「画音同期調整」では、0 ms 以上で設定しているときに、アイコンが緑に点灯します。本機の接続と設定を行ってください。

ブラビアリンク画面の見かた

ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、テレビのリモコンから本機のブラビアリンク画面を操作することができます。

ブラビアリンク画面について

テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押す、またはテレビのオプションメニューから「リンクメニュー」を選ぶと、ブラビアリンク画面が表示されます。ディスクの種類により、ブラビアリンク画面の表示内容は異なります。

例：DVD ビデオ再生中のブラビアリンク画面

←/↑/↓/→ を押して項目を選び、決定ボタンを押します。

◆ DVD ビデオを再生しているとき

「トップメニュー」と「メニュー」を表示します。

◆ VR モードの DVD ディスクを再生しているとき

⏮, ⏭ と、チャプター番号を表示します。

◆ CD やビデオ CD、またはスーパー VCD をプレイバックコントロール機能を使わずに再生しているとき

⏮, ⏭ と、トラック番号を表示します。

◆ビデオ CD やスーパー VCD をプレイバックコントロール機能を使って再生しているとき

⏮, ⏭ と、シーン番号を表示します。
ディスクのメニューが表示されたら、↑/↓ を押して項目を選びます。

◆データ CD やデータ DVD を再生しているとき

「メニュー」と「ピクチャーナビ」を表示します。

画面表示を消すには

テレビのリモコンのリターンまたはリンクメニューボタンを押します。

ヒント

ブラビアリンク画面は本機のリモコンでも操作できます。
ブラビアリンク画面の下部に表示される Guide bar に関して。
リターン：TV のリモコンの“戻る”(リターン) ボタンです。

ご注意

- ブラビアリンク画面の項目は、本機リモコンのボタンと同機能です。
- 2008 年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビで使用できます。
- ブラビアリンクについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

接続について

手順1～6に従って、本機の接続と設定を行ってください。

ご注意

- ノイズや雑音の原因となるのでプラグは端子にしっかりと差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 映像入力端子のないテレビに接続することはできません。
- コンセントから本機および接続する機器のプラグを抜いてから接続してください。

手順1：付属品を確認する

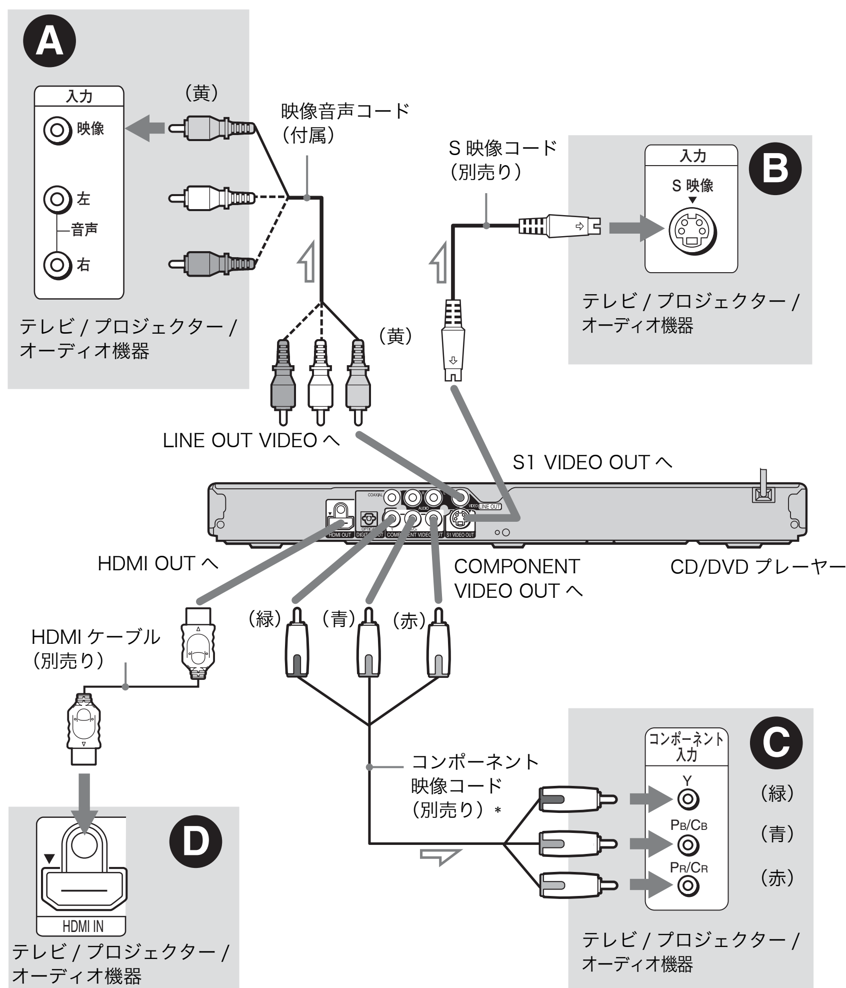
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像音声コード（ピンプラグ×3 ⟷ ピンプラグ×3）（1）
- リモコン（1）
- 単3形乾電池（R6）（2）
- ソニーご相談窓口のご案内 （1）
- 保証書 （1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

手順 2：映像コード /HDMI ケーブルをつなぐ

本機をテレビやモニター、プロジェクター、または AV アンプなどのオーディオ機器に映像コードを使ってつなぎます。接続する機器の入力端子に合わせて、Ⓐ 〜 Ⓓ のつなぎかたからお選びください。
プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビなどに接続してプログレッシブ映像をお楽しみになる場合は Ⓒ を選びます。HDMI 入力端子を備えた機器に接続するときは Ⓓ を選んでください。



⟹：信号の流れ

* テレビに D 端子しか無い場合は、D 端子コンポーネントビデオコード（別売り）をご使用ください。

➡ 次のページへつづく

Ⓐ 映像入力端子
標準的な映像が楽しめます。

Ⓑ S 映像入力端子
S 映像コード（別売り）を使ってつなぎます。映像入力端子よりもきれいな映像が楽しめます。

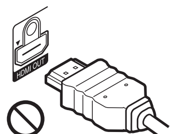
Ⓒ コンポーネント映像（Y、PB/CB、PR/CR）入力端子
映像本来の色が忠実に再現され、高画質でお楽しみいただけます。
テレビがプログレッシブ方式（525p）に対応している場合は、この接続にして「画面設定」の「プログレッシブ（コンポーネント出力のみ）」を「入」にすると（62 ページ）プログレッシブ信号が出力されます。

Ⓓ HDMI/DVI 入力端子
ソニー製 HDMI ケーブルを使うと、高画質デジタル映像と音声を HDMI OUT 端子から出力します。

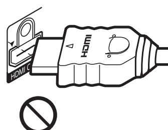
HDMI 機器制御機能に対応するソニー製テレビにつなぐ場合は、21 ページをご覧ください。

HDMI OUT 端子につなぐときは
以下の手順に従ってください。適切に扱わないと HDMI OUT 端子やプラグを破損することがあります。

1 本機裏面の HDMI OUT 端子と HDMI ケーブルのプラグの形を確認し、曲がらないように注意して合わせる。
プラグが逆さになったり、斜めになったりしないようにご注意ください。

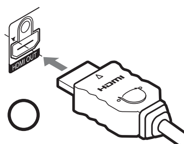


プラグが逆さになっている



曲がっている

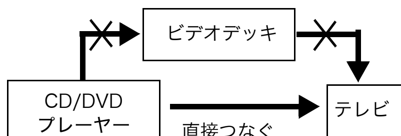
2 プラグを HDMI OUT 端子にまっすぐ差し込む。
プラグを曲げたり、圧迫したりしないでください。



DVI 入力端子のあるテレビにつなぐには
HDMI-DVI 変換コード（別売り）を使います。DVI 端子は音声信号を受け付けないため、別途に音声接続をする必要があります（22 ページ）。但し、本機の HDMI OUT 端子を HDCP に準拠していない DVI 端子に接続することはできません（PC ディスプレイの DVI 端子など）。

従来の 4:3 画面テレビとつなぐとき
再生するディスクによっては、画像がテレビの形状に合わないことがあります。横縦比を変えるには 62 ページをご覧ください。

ご注意
- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力（Y/PB/PR）には対応していません。
- 本機はテレビに直接つないでください。本機からビデオデッキなどを経由してテレビに信号を出力すると、画像が乱れる場合があります。テレビに映像音声入力端子がひとつしかない場合は、本機をテレビの映像音声入力端子につなぎます。



- 本機を移動するときは、必ず電源コードを抜いてください。
- 本機をキャビネットの壁に押しつけて圧迫しないでください。HDMI OUT 端子や HDMI ケーブルを破損することがあります。
- HDMI ケーブルのプラグを抜き挿しするときに、回転させたりねじ込んだりしないでください。

HDMI 機器制御機能について

ソニー製の HDMI 機器制御機能対応機器に HDMI ケーブル（別売り）でつなぐと、以下の機能をお楽しみいただけます。
- ワンタッチプレイ（28 ページ）
- 電源オフ連動
  テレビの電源ボタンでテレビの電源を切ると、HDMI 機器制御機能対応機器も自動的に電源が切れます。

HDMI 機器制御機能の準備をするには

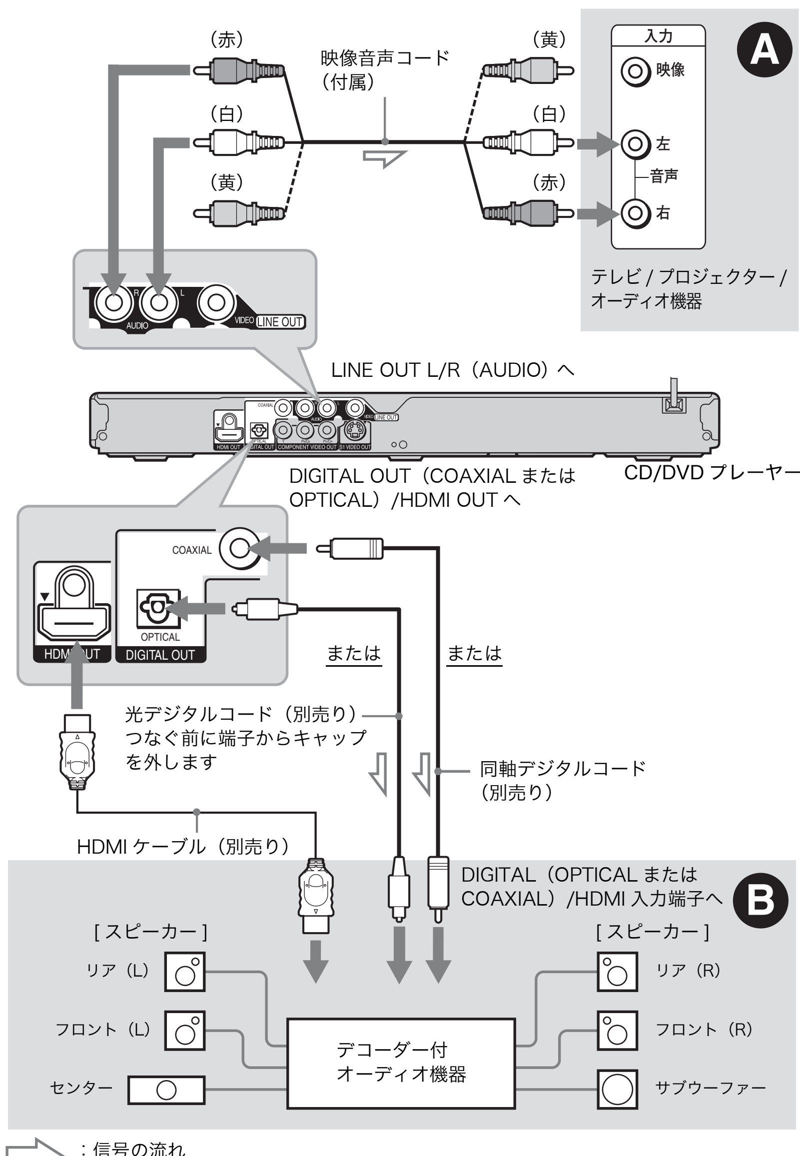
「HDMI 設定」の「HDMI 機器制御」を「入」にします（68 ページ）。テレビ側の設定について詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

接続する機器によっては HDMI 機器制御機能が働かないことがあります。接続機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

手順 3：音声コードをつなぐ

お使いのテレビやプロジェクター、または AV アンプなどのオーディオ機器の入力端子に合わせ、パターン Ⓐ または Ⓑ を選びます。
この接続で、音声が聞こえるようになります。



：信号の流れ

ヒント
スピーカーの正しい設置位置については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

Ⓐ 音声入力端子（L/R）

この接続ではテレビやステレオアンプの 2 つのスピーカーを音声出力に使います。

Ⓑ デジタル音声入力端子

お使いのオーディオ機器にドルビーデジタル[*1]、または DTS[*2] のデコーダーが内蔵されており、デジタル音声入力端子がある場合に、この接続にしてください。ドルビーデジタル（5.1ch）や DTS（5.1ch）のサラウンド効果が楽しめます。
HDMI 機器制御機能対応のソニー製オーディオ機器につなぐ場合はオーディオ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

*2 DTS, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
以下が米国パテントナンバーです。
Pat. 5,451,942
DTS および DTS Digital Out は DTS, Inc. の登録商標です。
DTS ロゴおよび記号は DTS, Inc. の商標です。

ご注意

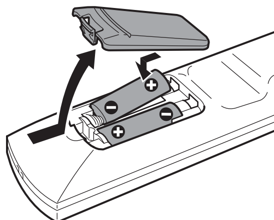
- 接続を終えた後のクイック設定では、必ず「ドルビーデジタル」は「ドルビーデジタル」に、「DTS」は「入」に設定してください（26 ページ）。スピーカーから音声が出なかったり、異音が出たりすることがあります。
- サンプリング周波数が 96kHz の PCM 信号に対応するオーディオ機器につなぐときは、「オーディオ設定」の「48kHz/96kHz PCM」を「96kHz/24bit」に設定します（66 ページ）。
- この接続では本機のサラウンド（TVS）効果は使えません。
- 本機を HDMI ケーブルでオーディオ機器につなぐときは、次のいずれかを行ってください。
  - オーディオ機器をテレビに、HDMI ケーブルでつなぐ。
  - 本機をテレビに HDMI ケーブル以外の映像コードでつなぐ（コンポーネント映像コード、S 映像ケーブル、または映像音声コード）。
- HDMI OUT 端子でつなぐときは、HDMI ケーブルのプラグと端子の形状をよく確認してください。HDMI ケーブルを曲げたり圧迫したりしないでください。

手順 4：電源コードをつなぐ

本機およびテレビの電源コードを電源コンセントにつなぎます。

手順 5：リモコンに電池を入れる

⊕ と ⊖ の向きをリモコン内部の表示に合わせて、単 3 形乾電池（R6、付属）2 個を入れてください。
本機を操作するときは、本機のリモコン受光部 IR にリモコンを向けて操作してください。

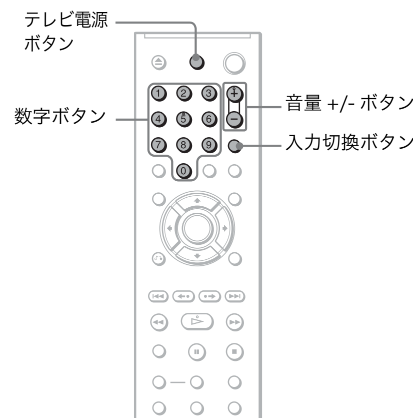


ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。
  次のことを必ず守ってください。
  ー 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  ー 乾電池は充電しないでください。
  ー 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  ー 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 IR に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

付属のリモコンでテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビの音量や電源などを操作できます。



以下のボタンを使ってテレビの操作ができるようになります。

押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入 / 切する。
音量 ＋ / －	テレビの音量を調整する。
入力切換	テレビの入力を切り換える。

ご注意

テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。

他のメーカーのテレビを操作する

他社製テレビの音量や入力切換、電源も操作することができます。
お使いのテレビのメーカーが次の表に記載されていたら、対応するメーカー番号を設定してください。

1 リモコンのテレビ電源ボタンを押したまま、テレビのメーカー番号（2 桁）を数字ボタンで入力する。

2 テレビ電源ボタンをはなす。

メーカー番号

メーカー番号が 2 つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号をお選びください。

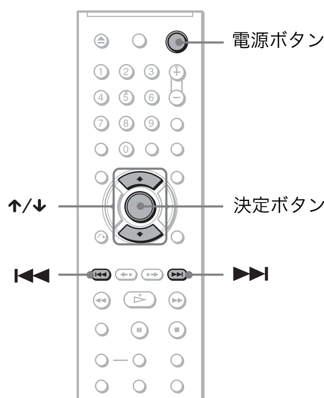
テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01（お買い上げ時の設定）、12
アイワ	17
NEC	09
三星電子（SAMSUNG）	18、19
三洋電機	07
シャープ	08
東芝	03
日本ビクター	06
日立製作所	04
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05

ご注意

- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度入力し直してください。
- テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。

手順 6：クイック設定をする

以下の手順に沿って、本機をご使用になるための基本の設定をします。
1 つの設定をとばして次の設定に進むには、▶▶| を押します。1 つ前の設定に戻るには、|◀◀ を押します。



1 テレビの電源を入れる。

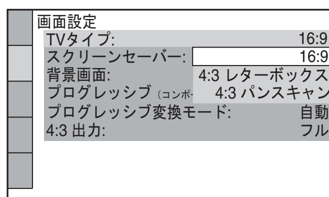
2 電源ボタンを押す。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

画面の下に「クイック設定するには [決定] を押してください」が画面下部に表示されます。このメッセージが表示されないときは、コントロールメニュー画面で「設定」の「クイック」を選んで、クイック設定を始めます（61 ページ）。

4 ディスクが入っていない状態で決定ボタンを押す。

接続したテレビの種類を設定する画面が表示されます。



5 ↑/↓で接続したテレビに合った設定を選ぶ。

◆ ワイドテレビまたはワイドモードのある 4：3 画面のテレビと接続したとき

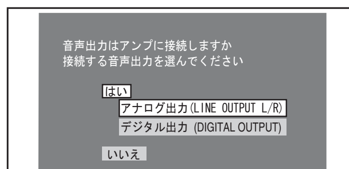
- 「16:9」（62 ページ）

◆ 従来の 4：3 画面のテレビと接続したとき

- 「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」（62 ページ）

6 決定ボタンを押す。

アンプなどオーディオ機器の接続について設定する画面が表示されます。



7 ↑/↓でオーディオ機器を使うときの接続端子を選んで決定ボタンを押す。

オーディオ機器を接続していない場合は、「いいえ」を選び、手順 11 に進んでください。
オーディオ機器を音声コードのみで接続している場合は、「はい：アナログ出力（LINE OUTPUT L/R)」を選び、手順 11 に進んでください。
オーディオ機器を光／同軸デジタルコードまたは HDMI ケーブルで接続している場合は、「はい：デジタル出力（DIGITAL OUTPUT)」を選びます。

8 ↑/↓で接続したオーディオ機器へ出力するドルビーデジタル音声信号の種類を選ぶ。

オーディオ機器にドルビーデジタルデコーダーが内蔵されている場合は、「ドルビーデジタル」を選んでください。内蔵されていなければ「ダウンミックス PCM」を選びます。

オーディオ設定

オーディオDRC:	スタンダード
ダウンミックス:	ドルビーサラウンド
音声デジタル出力:	入
ドルビーデジタル:	ダウンミックスPCM
DTS:	ダウンミックスPCM
48kHz/96kHz PCM:	ドルビーデジタル

9 決定ボタンを押す。

DTS 音声の出力を設定する画面が表示されます。

オーディオ設定

オーディオDRC:	スタンダード
ダウンミックス:	ドルビーサラウンド
音声デジタル出力:	入
ドルビーデジタル:	ダウンミックスPCM
DTS:	切
48kHz/96kHz PCM:	切
	入

10 ↑/↓ で接続したオーディオ機器へ DTS 音声信号を出力するかどうかを選ぶ。

オーディオ機器に DTS デコーダーが内蔵されている場合は、「入」を選んでください。内蔵されていなければ「切」を選びます。

11 決定ボタンを押す。

クイック設定が終了します。接続と設定はこれで終わりです。

ご注意

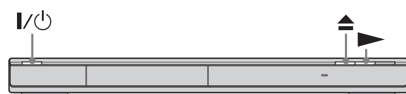
「ブラビア　プレミアムフォト」（58 ページ）実行中は、「ＴＶ タイプ」の選択項目は飛ばされます。

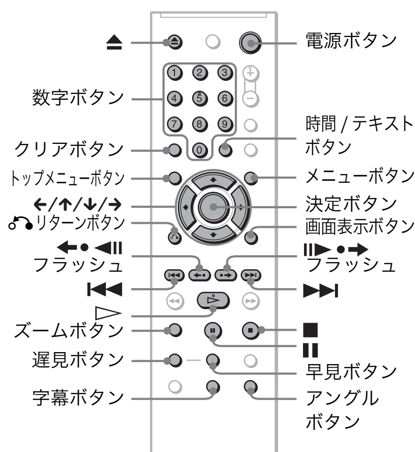
ディスクを再生する

DVDVideo DVDVR VCD CD

DATA CD DATA DVD

DVD あるいはビデオ CD によっては、禁止されている操作もあります。
再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。





1 テレビの電源を入れる。

2 電源ボタンを押す。

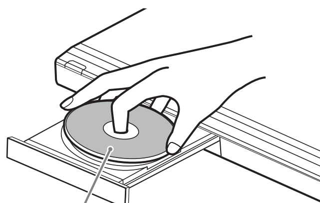
本機の電源が入ります。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

◆ オーディオ機器を使うときは

オーディオ機器の電源を入れ、本機の音声が出るように機器側の入力を切り換えます。

4 本体の⏏を押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く。



5 ▷ を押す。

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。テレビまたはオーディオ機器で音量を調整します。
ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。DVD ビデオ再生の場合は 31 ページ、ビデオ CD の場合は 31 ページ をご覧ください。

電源を切るには

電源ボタンを押します。本機はスタンバイモード（待機状態）になります。

ワンタッチプレイについて（HDMI 接続のみ）

本機のリモコンの ▷（再生）ボタンを押すと、本機とテレビの電源が入り、テレビ側の入力が本機に切り換わり、再生が始まります。
以下の場合でもテレビ側の入力は本機に切り換わります：

- リモコンの ▷、トップメニュー、メニュー、画面表示ボタンが押されたとき。ただし、「音声映像選択モード」を「音声（MP3）」に設定して音楽 CD や MP3 音声トラックを再生している場合、これらのボタンは無効になります。
- オートプレイ機能付きのディスクが挿入されていて、ディスクのオートプレイが働いて再生されたとき。

💡 **ヒント**
ディスクを再生していないときに 30 分以上本体またはリモコンを操作しなければ、自動的にスタンバイモードになるように設定できます(オートパワーオフ機能)。「視聴設定」の「オートパワーオフ」を「入」に設定してください(64 ページ)。

DVD ビデオの DTS 音声再生時のご注意

- DTS 音声信号は DIGITAL OUT (OPTICAL および COAXIAL) 端子、または HDMI OUT 端子からのみ出力されます。
- DVD ビデオの DTS 音声を再生するときは、「オーディオ設定」の「DTS」を「入」に設定します（66 ページ）。
- DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときは、「オーディオ設定」の「DTS」を「入」に設定しないでください（66 ページ）。スピーカーから大きな音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

ご注意

DVD レコーダーで記録されたディスクを再生するには、ファイナライズ作業が適切に行われている必要があります。ファイナライズ作業について詳しくは、DVD レコーダーに付属の取扱説明書をお読みください。

いろいろな操作方法

以下のボタンの位置については、28 ページのイラストをご覧ください。

こんなときは	こうする
止める	■ を押す
途中で止める	❚❚ を押す
途中で止めたあと、つづきを再生する	❚❚ または ▷ を押す
再生中にチャプターや場面、トラックを進める	▶▶❙ を押す
再生中にチャプターや場面、トラックを戻す	❙◀◀ を押す
ディスクを取り出す	⏏ を押す
アングルを変える	再生中にアングルボタンを押す 複数のアングルがあるときは、繰り返し押してアングル番号を選ぶ
字幕を表示する	再生中に字幕ボタンを押す 複数の字幕があるときは、繰り返し押して字幕言語を選ぶ
少し前の画像場面に戻る *1	再生中に ←● ◀❚❚ フラッシュを押す
少し先の画像場面に進む *2	再生中に ❚❚▶ ●→ フラッシュを押す
画像を拡大する *3	繰り返しズームボタンを押す クリアボタンを押して元に戻す

*1 DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL 以外の DVD のみ
*2 DVD のみ
*3 ビデオ映像と JPEG 画像のみ（背景画除く）。←/↑/↓/→ で拡大した範囲を動かすこともできます。ディスクの内容によっては、動かしたときにズーム機能がキャンセルされる場合があります。

ご注意

再生場面によっては、フラッシュ機能が使えないことがあります。

音声付きで早見再生や遅見再生をする

早見再生や遅見再生をしながら、会話や音声を聴くことができます。

再生中に早見ボタン、または遅見ボタンを押す。

繰り返し押すと速度が変わります。

通常の再生に戻すには

▷ を押します。

→ 次のページへつづく

ご注意

- この機能は DVD やビデオ CD、スーパーVCD、にのみ働きます。
- 最高速度あるいは最低速度に到達したとき「その操作は実行できません」という表示が現れます。
- 早見再生や遅見再生中は、アングル（29 ページ）や字幕（29 ページ）、音声（49 ページ）を変えることはできません。ただし、ビデオ CD、スーパー VCD では音声を変えることができます。
- DTS 音声トラックの再生中は、早見再生や遅見再生機能が働きません。
- DVD-VR モードの静止画を再生しているときは、早見再生と遅見再生機能は使えません。
- コントロールメニューと早見再生や遅見再生機能を同時に使うことはできません。

ディスクトレイをロックする（チャイルドロック）

本体とリモコンの ⏏ ボタンを使えなくすることができます。子供が開けることができないように、本機のディスクトレイをロックすることができます。

スタンバイモード時にリモコンの リターンボタンを押し、続けて決定ボタン、電源ボタンを順に押す。

電源が入り、本体表示窓に「LOCKED」が表示されます。チャイルドロックが設定されているときは、本体とリモコンの ⏏ ボタンを使うことができません。

チャイルドロックを解除するには

上の操作を繰り返します。

ご注意

コントロールメニューの「設定」で「リセット」（61 ページ）を選んでも、この設定は解除されません。

再生を止めたところから再生する（つづき再生機能）

DVDVideo VCD

再生を止めた場所をディスク 6 枚分まで記録し、次に同じディスクをいれたときにつづきを再生することができます。7 枚目以降は、1 枚目の停止場所から順に記録を自動的に消去して、新しいディスクの停止場所を記録します。

1 ディスクの再生中、■ を押して、再生を止める。

本体表示窓に「RESUME」が表示されます。

2 ▷ を押す。

手順 1 で再生を止めたところから、再生が始まります。

ヒント

ディスクを最初から再生したいときは、■ を 2 回押してから、▷ を押します。

ご注意

- つづき再生機能を使うには、設定画面の「視聴設定」で「つづき再生機能」を「入」（お買い上げ時の設定）にしておく必要があります（64 ページ）。
- 次の場合、現在再生しているディスクについては、つづき再生が解除されます。
  - 再生モードを変えたとき
  - 設定画面で設定を変更したとき
- DVD-VR モードと CD、データ CD やデータ DVD では現在再生しているディスクのみつづき再生が働きます。以下の場合、つづき再生は解除されます。
  - ディスクトレイを開いたとき
  - 電源コードを抜いたとき
  - スタンバイモードにしたとき（データ CD/データ DVD のみ）
- シャッフル再生中とプログラム再生中には、つづき再生機能は働きません。
- ディスクによっては、つづき再生ができない場合があります。
- 「視聴設定」で「つづき再生機能」を「入」に設定して記録されたディスク（DVD-RW など）をつづき再生した場合、他の記録されたディスクも同じ場所から再生されることがあります。

DVD のメニューを使う DVDVideo

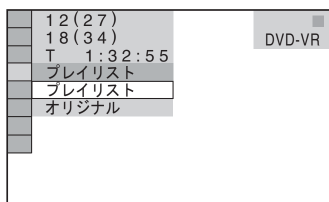
DVD ビデオは「タイトル」と呼ばれる映像や音楽の部分で構成されています。
複数のタイトルを含む DVD ビデオを再生するときにタイトルを選ぶには、トップメニューボタンを押してください。
音声・字幕の言語などの項目を選択できる DVD ビデオを再生するときは、メニューボタンを押します。

DVD-VR モードのオリジナルとプレイリストを選ぶ DVDVR

DVD-VR モードには、ディスクによっては実際に記録される「オリジナル」のタイトルと、DVD レコーダーなどで編集して作成される「プレイリスト」という 2 種類のタイトルを持つ場合があります。
このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生することができます。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （オリジナル / プレイリスト）を選び、決定ボタンを押す。
「オリジナル / プレイリスト」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で項目を選ぶ。
- プレイリスト：オリジナルを元に編集して作られたタイトルを再生します。
- オリジナル：実際に記録されているタイトルを再生します。

4 決定ボタンを押す。

プレイバックコントロール機能を使う（PBC 再生）VCD

Playback Control（プレイバック コントロール） (PBC 機能）を使うと TV 画面に表示されるメニューでビデオ CD をインタラクティブに再生することができます。
PBC 機能つきビデオ CD で再生を始めると、選択画面が表示されます。
数字ボタンを使って項目を選び、決定ボタンを押します。その後は画面の指示にしたがってください（「SELECT を押してください」などと表示されたら ▷ を押します)。
ビデオ CD により操作が異なる場合がありますので、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻るには

リターンボタンを押します。

ヒント

PBC 機能を使わないで再生するときは、停止中、⏮ や ⏭ または数字ボタンを押して再生したいトラックを選んでから、▷ または決定ボタンを押します。画面上に「PBC を切って再生します」が表示され、通常の再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
PBC 再生に戻すには、■ を 2 度押したあと、▷ を押します。

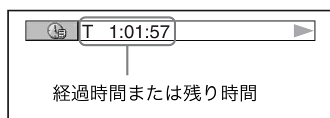
➡ 次のページへつづく

経過時間と残り時間を見る

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA CD DATA DVD

再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。ディスクに記録された DVD や CD のテキストや MP3 音声のトラック名、ID3 タグ情報を見ることもできます。

1 **再生中に時間 / テキストボタンを押す。**
以下の画面が表示されます。



2 **時間 / テキストボタンを繰り返し押して、時間表示を切り換える。**
表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

ディスクの再生情報を確認する

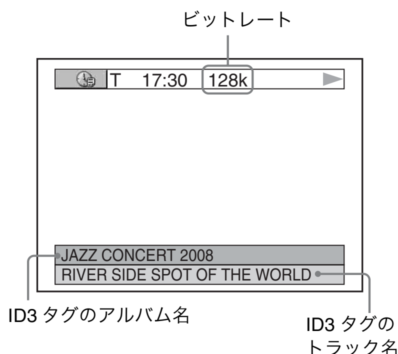
DVD/CD テキストを見るには

DVD/CD に記録されたテキストを見るには、時間 / テキストボタンを繰り返し押します。
テキストまたはトラック名がディスクに記録されているときのみ表示されます。記録されていないと「NO TEXT」と表示されます。テキストを変更することはできません。

データ CD/ データ DVD のアルバム名などを確認するには

データ CD やデータ DVD の再生中に時間 / テキストボタンを押すと、テレビ画面にアルバム名 / トラック名と音声ビットレート（再生中の音声の 1 秒あたりのおよその情報量）を表示することができます。

MP3 音声トラックに ID3 タグがある場合、本機は ID3 タグ情報に含まれるアルバム名 / トラック名を表示します。
MP3 音声トラックの ID3 タグ情報はバージョン 1 または 2 の ID3 タグがある場合に表示されます。バージョン 1 と 2、両方の ID3 タグがある場合はバージョン 2 のタグが優先されます。
本機はバージョン 1.0/1.1 と 2.2/2.3 の ID3 タグのみをサポートします。



表示窓で経過時間と残り時間を確認するには

表示窓は画面に連動して以下のように切り換わります。

◆ DVD のとき

再生中のタイトルの経過時間

T 1:03:24

↓

再生中のタイトルの残り時間

T- 1:15:36

↓

再生中のチャプターの経過時間

C 0:22:30

↓

再生中のチャプターの残り時間

C-0:13:20

↓

テキスト

SONY HI

↓

再生中のタイトルとチャプター番号

T 16 8

（自動的に最初の表示に戻ります）

◆データ CD（MP3 音声）/ データ DVD（MP3 音声）のとき

再生中のトラックの番号と経過時間

↓

トラック名や ID3 タグのトラック名

↓

再生中のアルバムとトラック番号
（自動的に最初の表示に戻ります）

◆ビデオ CD（PBC 再生時以外）や CD のとき

再生中のトラック番号と経過時間

↓

再生中のトラックの残り時間

↓

ディスクの経過時間

↓

ディスク全体の残り時間

↓

テキスト

ヒント

- ビデオ CD で PBC 再生していないときは、テキストの後に、トラックとインデックス番号が表示されます。
- ビデオ CD で PBC 再生しているときは、シーン番号と経過時間が表示されます。
- 1 行で表示しきれないDVD/CDテキストまたはトラック名（MP3 音声）は、本体表示窓にスクロールして表示されます。
- コントロールメニューを使ってでも経過時間と残り時間を見ることができます（15 ページ）。

ご注意

- 記録されたディスクによっては DVD/CD テキストやトラック名が表示できないことがあります。
- 本機は DVD/CD テキストの最初の部分（タイトル名など）のみ表示できます。
- MP3 音声トラックの経過時間は正確に表示されない場合があります。
- JPEG 画像ファイルのみを含むディスクを再生する場合、コントロールメニューの「音声映像選択モード」を「自動」または「自動（BGM）」に設定しておくと「BGM」が、「映像（JPEG）」に設定しておくと「JPEG」が本体表示窓に表れます。

再生モードを使う

（プログラム / シャッフル / リピート /A-B リピート）

再生モードには次の種類があります。
- プログラム再生（34 ページ）
- シャッフル再生（35 ページ）
- リピート再生（36 ページ）
- A-B リピート再生（37 ページ）

ご注意

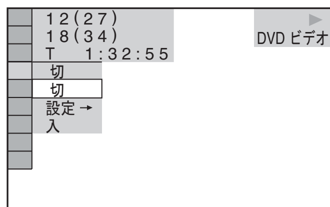
設定した再生モードは、次の場合に解除されます。
ーディスクトレイを開いたとき
ー電源ボタンを押して、本機がスタンバイモード（待機状態）になったとき

好きな順に再生する（プログラム再生）DVDVideo VCD CD

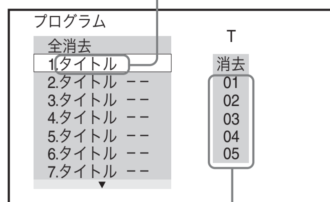
タイトルやチャプター、トラックを好きな順に再生できます。最大 99 個のタイトルやチャプター、トラックをプログラムできます。

1 画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

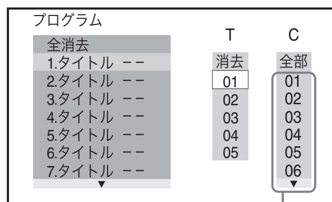
2 ↑/↓ で （プログラム）を選び、決定ボタンを押す。
「プログラム」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「設定 →」を選び、決定ボタンを押す。

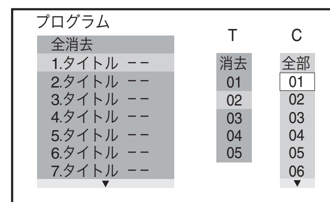


4 → を押す。
タイトルまたはトラック（「T」）にハイライトが移ります（この場合「01」）。



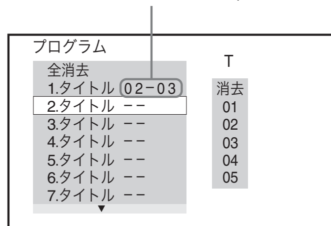
5 プログラム再生したいタイトル / チャプターまたはトラックを設定する。

◆ DVD ビデオのとき
例：タイトル「02」のチャプター「03」を設定する。
↑/↓ で「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。



次に ↑/↓ で「C」の「03」を選び、決定ボタンを押します。

設定されたタイトル / チャプター

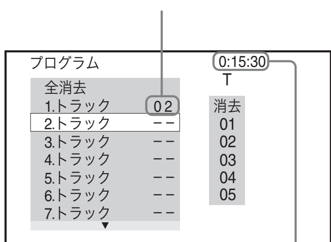


◆ **ビデオ CD あるいは CD のとき**

例：トラック「02」を設定する。

↑/↓ で「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。

設定されたトラック



プログラムしたトラックの総時間

6 続けて再生するタイトル / チャプター / トラックを設定したいときは、手順 4 〜 5 を繰り返す。

タイトル / チャプター / トラックが選んだ順に表示されます。

7 ▷ を押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生が終わっても、▷ を押せば同じプログラムを再生します。

通常の再生に戻すには

手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。同じプログラムをもう一度再生するときは、手順 3 で「入」を選び、決定ボタンを押します。

プログラムの設定を変更または消すには

1 「好きな順に再生する（プログラム再生）」の手順 1 〜 3 を行う。

2 手順 4 で、↑/↓ を使って変更または消したいタイトル、チャプター、トラックのプログラム番号を選び、→ を押す。
プログラムからタイトルやチャプター、トラックを削除したいときは、クリアボタンを押します。

3 手順 5 の操作で新しい設定を入力する。
設定したプログラムを取り消したいときは「T」の「消去」を選び、決定ボタンを押す。

設定したプログラムをすべて消すには

1 「好きな順に再生する（プログラム再生）」の手順 1 〜 3 を行う。

2 ↑ を押し「全消去」を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

ヒント

設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます。プログラム再生中に「リピート再生」（36 ページ）または「シャッフル再生」（35 ページ）の手順に沿って操作をします。

ご注意

- スーパー VCD では、プログラムしたトラックの総時間は画面に表示されません。
- この機能はビデオ CD、スーパーVCD の PBC 再生中には使えません。

順不同に再生する（シャッフル再生） DVDVideo VCD CD

本機が自動的にタイトルやチャプターまたはトラックの順番を選んで、再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。

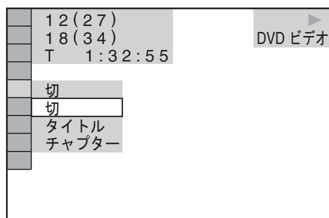
1 再生中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

再生する

➡ 次のページへつづく

2 **↑/↓ で（シャッフル）を選び、決定ボタンを押す。**
「シャッフル」の設定項目が表示されます。



3 **↑/↓ で順不同にして再生する項目を選ぶ。**

◆ DVD ビデオのとき
- タイトル
- チャプター

◆ ビデオ CD あるいは CD のとき
- トラック

◆ プログラム再生しているとき
- 入：タイトルまたはトラック、チャプターをプログラム番号ごとに順不同にして再生します。

4 **決定ボタンを押す。**
シャッフル再生が始まります。

通常の再生に戻すには

手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ヒント
- 停止中にシャッフル再生を設定できます。シャッフルの項目を選び、▷ を押します。シャッフル再生が始まります。
- 「チャプター」を選んだとき、ディスク中の 200 のチャプターまでシャッフル再生できます。

ご注意

ビデオ CD やスーパー VCD を PBC 再生しているときは、シャッフル再生できません。

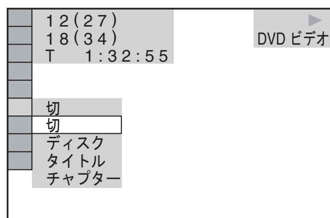
繰り返し再生する（リピート再生）

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA CD DATA DVD

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または 1 つのタイトル / チャプター / トラックを繰り返し再生できます。
シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせて使うこともできます。

1 **再生中に画面表示ボタンを押す。**
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓ で（リピート）を選び、決定ボタンを押す。**
「リピート」の設定項目が表示されます。



3 **↑/↓ で繰り返し再生する項目を選ぶ。**

◆ DVD ビデオのとき
- ディスク：すべてのタイトル
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

◆ DVD-VR モードのとき
- ディスク：選んだタイトルの種類（オリジナルまたはプレイリスト）内すべてのタイトル（31 ページ）
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

◆ ビデオ CD あるいは CD のとき
- ディスク：すべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

◆ データ CD やデータ DVD のとき
- ディスク：すべてのアルバム
- アルバム：再生中のアルバム
- トラック：再生中のトラック（MP3 音声のみ）

◆ **プログラム再生あるいはシャッフル再生をしているとき**
- 入：プログラム再生、シャッフル再生をリピート再生します。

4 決定ボタンを押す。
繰り返し再生が始まります。

通常の再生に戻すには
手順３で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ヒント
停止中にリピート再生を設定できます。リピート再生の項目を選び、▷を押します。リピート再生が始まります。

ご注意
- ビデオCDやスーパーVCDでPBC再生しているときは、リピート再生できません。
- MP3音声トラックとJPEG画像ファイルを含むデータCD/データDVDを繰り返し再生するとき、それぞれの再生時間が違うと、音声と画像が合わなくなります。
- コントロールメニューの「音声映像選択モード」で「映像（JPEG）」（57ページ）を選んでいるときは、データCD/データDVDの「トラック」は選べません。

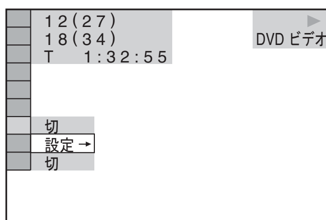
再生したい部分だけを繰り返す（A-Bリピート）

DVDVideo DVDVR VCD CD

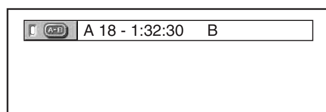
タイトルやチャプター、トラックの再生したい部分を１か所指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 再生中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

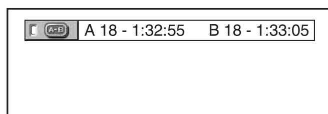
2 ↑/↓で（A-Bリピート）を選び、決定ボタンを押す。
「A-Bリピート」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓で「設定→」を選び、決定ボタンを押す。
A-Bリピート設定画面が表示されます。



4 再生中に、繰り返す部分の始点（A点）で決定ボタンを押す。
始点（A点）が設定されます。



5 繰り返す部分の終点（B点）で、もう一度決定ボタンを押す。
指定した部分が表示され、繰り返して再生されます。

通常の再生に戻すには
手順３で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ご注意
- A-Bリピートを設定すると、シャッフル再生やリピート再生、プログラム再生は解除されます。
- 複数のタイトルに対してA-Bリピート再生を設定することはできません。
- 静止画を含んだDVD-VRモードでは、A-Bリピートは設定できない場合があります。

画質を調整する

（お好み画質モード）

DVDVideo DVDVR VCD DATA CD DATA DVD

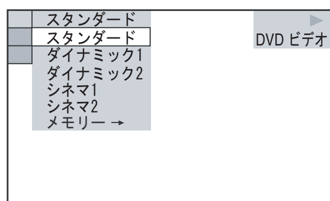
本機から出力するDVDやビデオCD、JPEGフォーマットのデータCD/データDVDの映像信号を調整し、お好みに合わせて画質を調整できます。ソフトに合わせて既存のお好み画質モード設定から選べますが、「メモリー」を選ぶと色や明るさなどの画質の各項目を個別に調整できます。

1 再生中に画面表示ボタンを２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓で［アイコン］（お好み画質モード）を選び、決定ボタンを押す。

「お好み画質モード」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓でお好みの画質設定を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

- スタンダード：標準的な画質
- ダイナミック１：コントラストの強いメリハリのある画質
- ダイナミック２：ダイナミック１よりコントラストの強いメリハリのある画質
- シネマ１：黒色を強調して暗い部分の詳細を際立たせる
- シネマ２：白色をより明るく、黒色をより強調して、色あいのコントラストをつける
- メモリー：画質を項目ごとにより細かく調整する

4 決定ボタンを押す。

設定内容が有効になります。

ヒント

映画を見るときは、「シネマ１」または「シネマ２」をお勧めします。

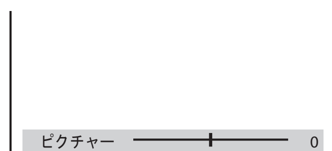
画質を項目ごとに調整する（メモリー）

次の項目を個々に調整できます。

- ピクチャー：コントラストを調整する。
- 明るさ：全体の明るさを調整する。
- 色の濃さ：色をより濃く、またはより明るく調整する。
- 色あい：色のバランスを調整する。

1 「画質を調整する」の手順３（38ページ）で「メモリー」を選び、決定ボタンを押す。

「ピクチャー」を調整するバーが表示されます。



2 ←/→で画質のコントラストを調整する。

↑/↓で内容を保存せずに前または次の画質調整項目に切り替えることが出来ます。

3 決定ボタンを押す。

調整した内容は保存されます。

「明るさ」を調整するバーが表示されます。

4 手順２と３を繰り返し、「明るさ」や「色の濃さ」、「色あい」を調整する。

画面表示を消すには

リターンまたは画面表示ボタンを押します。

ご注意

- この機能は「HDMI 設定」の「JPEG 解像度」が「ブラビア プレミアムフォト」に設定されていると働きません（58 ページ）。
- この機能はお使いのテレビ（08 年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビ）の「HDMI 機器制御」が「入」で、「シアター」モードが「入」となっている場合は働きません。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

映像の輪郭を調整する（シャープネス）DVDVideo

DVDVR VCD DATA CD DATA DVD

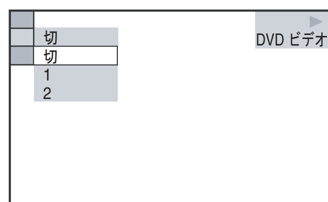
画像の輪郭を強調して、画像をより鮮明にはっきり見せます。

1 再生中に画面表示ボタンを2回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で（シャープネス）を選び、決定ボタンを押す。

「シャープネス」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ でレベルを選ぶ。

- 1：輪郭を強調する。
- 2：「1」よりも輪郭を強調する。

4 決定ボタンを押す。

設定内容が有効になります。

設定を解除するには

手順 3 で「切」を選びます。

ご注意

- この機能は「HDMI 設定」の「JPEG 解像度」が「ブラビア プレミアムフォト」に設定されていると働きません（58 ページ）。
- この機能はお使いのテレビ（08 年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビ）の「HDMI 機器制御」が「入」で、「シアター」モードが「入」となっている場合は働きません。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

映像と音声のずれを調整する（画音同期調整）

DVDVideo DVDVR VCD

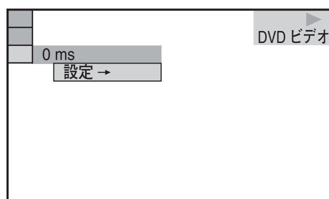
音声が画面の映像とあっていないとき、映像と音声のずれを調整することができます。

1 再生中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓で（画音同期調整）を選び、決定ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



3 ↓で「設定 →」を選び、決定ボタンを押す。

画音同期調整バーが表示されます。

4 → を繰り返し押してずれを調整する。

←/→を押すたびに10ミリ秒ずつ調整されます。

5 決定ボタンを押す。

設定内容が有効になります。

画音同期調整の設定を解除するには

手順4でクリアボタンを押します。

ご注意

- DIGITAL OUT（OPTICAL または COAXIAL）端子を使い、「音声設定」の「ドルビーデジタル」や「DTS」をそれぞれ「ドルビーデジタル」または「入」に設定している場合、この機能は働きません（66 ページ）。
- ドルビーデジタルまたはDTS対応機器を HDMI OUT 端子につなぎ、「音声設定」の「ドルビーデジタル」や「DTS」をそれぞれ「ドルビーデジタル」または「入」に設定している場合、この機能は働きません（66 ページ）。

ディスクの再生を制限する（カスタム視聴制限、視聴制限）

本機には、ディスクの再生を制限する次の2種類の機能があります。
- カスタム視聴制限
  本機で特定のディスクを再生できないようにする。
- 視聴制限
  DVDビデオによっては年齢制限などの規定の設定で、再生が制限されていることがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し替えて再生します。

カスタム視聴制限も視聴制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。

カスタム視聴制限を設定する

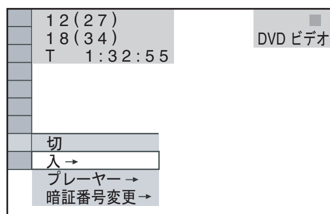
DVDVideo VCD CD

登録した暗証番号を使って、40枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。41枚目のディスクを設定すると、1番最初に設定したディスクの制限が解除されます。

1 設定したいディスクを入れる。
ディスクを再生しているときは、■を押して再生を止めます。

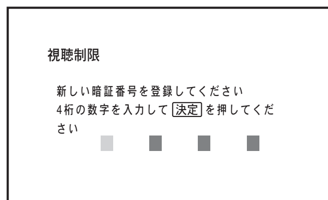
2 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓で（視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



4 ↑/↓で「入 →」を選び、決定ボタンを押す。

◆ 暗証番号が登録されていないとき
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が表示されます。

◆ 暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号入力の画面が表示されます。

5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
「カスタム視聴制限を設定しました」と表示され、コントロールメニュー画面に戻ります。

カスタム視聴制限を解除するには

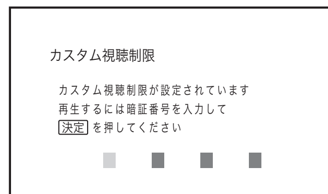
1 「カスタム視聴制限―設定する」の手順1～3を繰り返す。

2 ↑/↓で「切 →」を選び、決定ボタンを押す。

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

カスタム視聴制限の設定されたディスクを再生するには

1 カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる。
「カスタム視聴制限」の画面が表示されます。



➡ 次のページへつづく

2 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生できる状態になります。

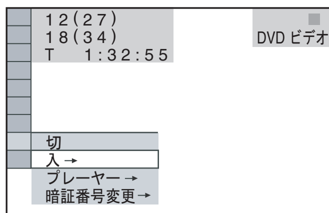
ヒント
暗証番号を忘れてしまったときは、「カスタム視聴制限」画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6 桁の数字「199703」を数字ボタンで入力します。画面に、新しい 4 桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

視聴制限を設定する DVDVideo

DVD ビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「プレーヤー →」を選び、決定ボタンを押す。

◆ 暗証番号が登録されていないとき
暗証番号登録の画面が表示されます。
数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
暗証番号確認の画面が表示されます。

◆ 暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号入力の画面が表示されます。

4 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
視聴制限のレベル設定変更の画面が表示されます。

5 ↑/↓ で「使用する地域」を選び、決定ボタンを押す。
「使用する地域」の選択項目が表示されます。

6 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す。
地域が選ばれます。
「その他 →」を選んだときは、77 ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

7 ↑/↓ で「レベル」を選び、決定ボタンを押す。
「レベル」の選択項目が表示されます。

8 ↑/↓ で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。
視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

視聴制限を解除するには

手順 8 で「レベル」を「切」にします。

視聴制限の設定されたディスクを再生するには

1 ディスクを入れて、▷ を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

ヒント
登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴制限を設定する」の手順１～３にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6 桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して、決定ボタンを押します。画面に新しい 4 桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。
新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、▷ を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入力します。

ご注意

- 視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生が解除されたときに、設定したもとのレベルに戻ります。

暗証番号を変更する

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で「暗証番号変更 →」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号入力の画面が表示されます。

4 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

5 数字ボタンで新しい 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

6 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

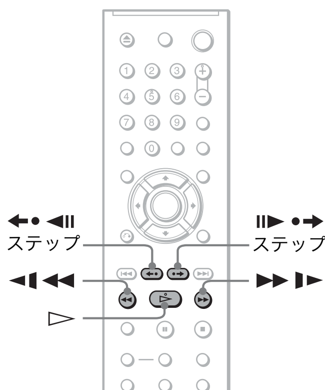
暗証番号を間違えたときは

決定ボタンを押す前に、← を押して入力しなおします。

見たいところ、聞きたいところをさがす

（スキャン / スロー再生 / コマ送り）

スキャンやコマ送りでの画像のモニターやスロー再生機能を使うと、見たいところをすばやく探すことができます。



ご注意

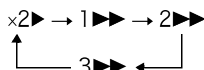
- ディスクによっては操作が禁止されている場合があります。
- データ CD/ データ DVD では、MP3 音声トラック上でのみ聞きたいところをさがすことができます。

早送り / 早戻しをして見たいところ、聞きたいところをさがす（スキャン）

DVDVideo　DVDVR　VCD　CD　DATA CD　DATA DVD

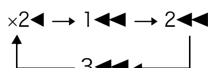
再生中に早送りするには ▶▶I▶ を、早戻しをするには ◀I◀◀ を押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スキャン中に ◀I◀◀ または ▶▶I▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります（速さはディスクの種類によって異なります）。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。速さはディスクの種類によって変わります。

◆再生方向



3▶▶ 早送り（DVD/ ビデオ CD のみ）
×2▶（DVD ビデオ /CD のみ）

◆逆方向



3◀◀ 早戻し（DVD/ ビデオ CD のみ）
×2◀（DVD ビデオのみ）

×2◀/×2▶は通常の約2倍の速度で再生します。
1◀◀/1▶▶ より、2◀◀/2▶▶ のほうが、また 2◀◀/2▶▶ より、3◀◀/3▶▶ のほうが、高速で再生します。

スロー再生する DVDVideo　DVDVR　VCD

一時停止中に ◀I◀◀ または ▶▶I▶ を押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生中、◀I◀◀ または ▶▶I▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。
2 種類の速さを選ぶことができます。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

◆再生方向

2 I▶ ←→ 1I▶

◆逆方向（DVD のみ）

2◀I ←→ 1◀I

1I▶/1◀Iより 2 I▶/2◀Iのほうが、低速で再生します。

コマ送りで見る DVDVideo DVDVR VCD

一時停止中に再生方向は⏵ ●➡ ステップ、逆方向（DVD のみ）は⬅● ◀II ステップを押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。

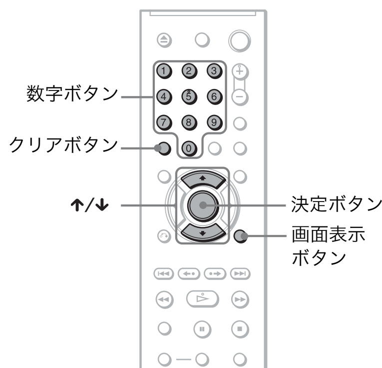
ご注意

DVD-VR モードでは、静止画はサーチできません。

タイトル / チャプター / トラック / シーンなどをさがす

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA CD DATA DVD

DVD のタイトルまたはチャプター、ビデオ CD/CD/ データ CD/ データ DVD のトラック / インデックス / ファイルまたはシーンを探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます。



1 再生中に画面表示ボタンを押す（JPEG 画像ファイルを含むデータ CD やデータ DVD を再生中のときは、画面表示ボタンを 2 回押す）。

コントロールメニュー画面が表示されます。

➡ 次のページへつづく

2 ↑/↓ で検索項目を選ぶ。

◆ **DVD のとき**

タイトル

チャプター

時間 / テキスト

タイムコードを入力して場面を探すときは、「時間 / テキスト」を選びます。

◆ **ビデオ CD あるいはスーパーVCD を PBC 再生していないとき**

トラック

インデックス

◆ **ビデオ CD あるいはスーパーVCD を PBC 再生しているとき**

シーン

◆ **CD のとき**

トラック

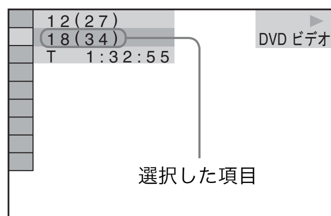
◆ **データ CD/ データ DVD のとき**

アルバム

トラック（MP3 音声トラックのみ）

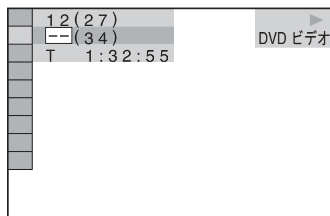
ファイル（JPEG 画像ファイルのみ）

例：チャプターを選んだとき
「＊＊（＊＊）」が表示されます（＊＊はディスクに記録されている番号です）。
カッコ内の数字はディスクに記録されているタイトル、チャプター、トラック、インデックス、シーン、アルバム、またはファイルの総数を表しています。



3 決定ボタンを押す。

「＊＊（＊＊）」が「- -（＊＊）」に変わります。



4 数字ボタンでタイトルやチャプター、トラック、インデックス、シーンなどの番号を入力する。

◆ **間違えたときは**

クリアボタンを押して、入力し直します。

5 決定ボタンを押す。

選んだ箇所から再生が始まります。

タイムコードを使ってシーンをさがすには（DVD のみ）

1 手順 2 で、時間 / テキストを選ぶ。
「T** : ** : **」（タイトルの経過時間）が選択されています。そのまま決定ボタンを押します。

2 数字ボタンを使ってタイムコードを入力し、決定ボタンを押す。
「T** : ** : **」から「T- -:- -:- -」に変更します。
たとえば、タイムコードで始まりから 2 時間 10 分 20 秒過ぎた場面を探すには、「2 : 10 : 20」と入力します。

ヒント

- コントロールメニューが表示されていなくても、数字ボタンと決定ボタンを押してチャプター（DVD）やトラック（CD/ データ CD/ データ DVD）を探すことができます。
- タイトルやチャプター、トラックの最初のシーンを 9 つに分割された画面で表示できます。シーンの 1 つを選択することによって、直接再生を始めることができます。「見たい場面を再生する（ピクチャーナビゲーション）」（47 ページ）をご覧ください。

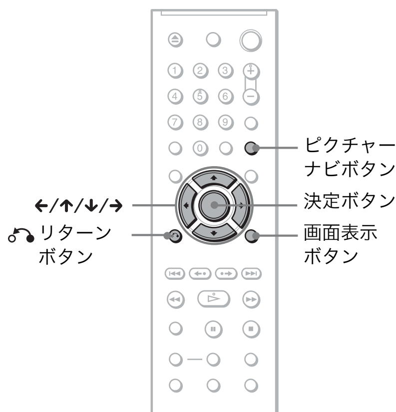
ご注意

- 表示されるタイトル、チャプター、トラックの番号はディスクに記録されている番号と同じです。
- DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL ではタイムコードで場面をサーチできません。

見たい場面を再生する（ピクチャーナビゲーション）

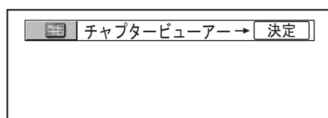
DVDVideo **VCD**

画面を 9 分割して見たい場面を簡単に探すことができます。



1 再生中にピクチャーナビボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ピクチャーナビボタンを繰り返し押して、項目を選ぶ。

- チャプタービューアー（DVD ビデオのみ）：各チャプターの最初の場面を表示します。
- タイトルビューアー（DVD ビデオのみ）：各タイトルの最初の場面を表示します。
- トラックビューアー（ビデオ CD/スーパー VCD のみ）：各トラックの最初の場面を表示します。

➡ 次のページへつづく

3 決定ボタンを押す。

各チャプターまたはタイトル、トラックの最初の場面が表示されます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9 ▼

4 ←/↑/↓/→ でチャプターやタイトル、トラックを選び、決定ボタンを押す。

選んだ場面から再生が始まります。

設定中に通常の再生に戻すには

リターンボタンあるいは画面表示ボタンを押します。

ヒント

９つ以上のチャプターやタイトル、トラックがあるときは、画面の右下に ▼ が表示されます。下段の場面を選び、↓ で次のチャプターやタイトル、トラックを表示させます。前の画面に戻るには、上段の場面を選び、↑ を押します。

ご注意

ディスクによってはいくつかの項目が選べない場合があります。

音声を切り換える

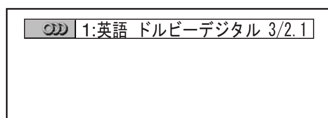
DVDVideo DVDVR VCD CD

DATA CD DATA DVD

複数の音声記録方式（ドルビーデジタル、DTS、PCM など）で記録された DVD ビデオを再生しているときに、音声記録方式を選ぶことができます。複数の音声の言語が記録された DVD ビデオでは、言語を選ぶこともできます。
また、CD やビデオ CD 再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオ CD などで、伴奏だけを聞くこともできます。

1 再生中に音声ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 音声ボタンを繰り返し押して、音声を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆ DVD ビデオのとき

選べる言語は DVD ビデオによって異なります。
4 桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（76 ページ）を参照してください。同じ言語が 2 個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

◆ DVD-VR モードのとき

録音された音声トラックの種類が表示されます。お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
例：
- 1：主（主音声）
- 1：副（副音声）
- 1：主（主音声）+ 副（副音声）

◆ ビデオ CD または CD のとき

- ステレオ：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

◆ スーパー VCD のとき

- 1: ステレオ：音声トラック 1 のステレオ再生
- 1:1/L：音声トラック 1 の左チャンネルの音（モノラル）
- 1:2/R：音声トラック 1 の右チャンネルの音（モノラル）
- 2: ステレオ：音声トラック 2 のステレオ再生
- 2:1/L：音声トラック 2 の左チャンネルの音（モノラル）
- 2:2/R：音声トラック 2 の右チャンネルの音（モノラル）

◆ データ CD、またはデータ DVD のとき

本機に内蔵される BGM が再生されます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
- BGM 1
- BGM 2
- BGM 3
- BGM 4

ご注意

- 音声トラック 2 が記録されていないスーパー VCD では、「2: ステレオ」または「2:1/L」、「2:2/R」を選ぶと、音声が出力されません。

➡ 次のページへつづく

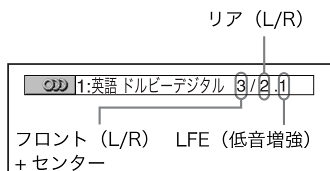
- DVD-VR モードで再生するときに、DIGITAL OUT（OPTICAL または COAXIAL）端子や HDMI OUT 端子に接続したオーディオ機器を使って音声トラックを再生するときは、「オーディオ設定」の「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定してください。
- 「映像音声選択モード」が「自動」や「自動（JPEG)」に設定されている場合、MP3 音声トラックが再生されていないときは本機内蔵の BGM が再生されます（57 ページ)。

音声信号フォーマットを確認する DVDVideo

再生中に繰り返し音声ボタンを押すと、現在の音声の信号フォーマット（ドルビーデジタル、DTS、PCM など）が次のように表示されます。

例：

ドルビーデジタル 5.1ch



音声信号について

ディスクに記録された音声信号は、次の音声要素（チャンネル）を含みます。各チャンネルは、別々のスピーカーから出力されます。

- フロント（L）
- フロント（R）
- センター
- リア（L）
- リア（R）
- リア（モノラル）：ドルビーサラウンド処理された信号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。
- LFE（Low Frequency Effect：低音増強）信号

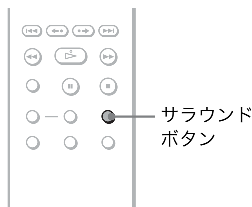
ご注意

「オーディオ設定」で「DTS」を「切」にしている場合（66 ページ)、ディスクに DTS 信号が含まれていても DTS の表示は出ません。

TV バーチャルサラウンドを楽しむ

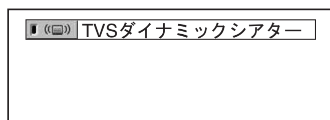
(TVS) DVDVideo

ステレオテレビのみ、または 2 台のフロントスピーカーのみをつないでいるとき、TVS（TV Virtual Surround）機能を使うと、リアスピーカーがなくても実在するフロントスピーカー（L、R）の音から創られた仮想サラウンドが楽しめます。TVS 機能は、ソニーが開発したステレオテレビ用サラウンド技術です。
この機能は、マルチチャンネルのドルビー音声サウンドトラックの再生時にのみ働きます。更に、本機の DIGITAL OUT（OPTICAL または COAXIAL）端子や HDMI OUT 端子から信号を出力する設定にしている場合、「オーディオ設定」の「ドルビーデジタル」が「ダウンミックス PCM」に設定されていないと効果がありません（65 ページ)。



1 再生中にサラウンドボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 サラウンドボタンを繰り返し押して、サラウンド効果を選ぶ。

各項目について詳しくは、以下の章をご覧ください。

- TVS ダイナミックシアター
- TVS ダイナミック
- TVS ワイド
- TVS ナイト
- TVS スタンダード

設定を解除するには

手順 2 で「切」を選びます。

◆ TVS ダイナミックシアター、TVS ダイナミック、TVS ワイド

ステレオスピーカー内蔵テレビのように、左右のフロントスピーカーの距離が近いときに効果的です。

◆ TVS ナイト

低い音量で、セリフを聞き取りつつ「TVS ワイド」のサラウンド効果も楽しみたいときに便利です。

◆ TVS スタンダード

TVS 機能を 2 台のフロントスピーカーと一緒に使いたいときに選びます。

ご注意

- リア音声が記録されていないディスクの場合、サラウンド効果は得られません。
- サラウンドを設定しているときは、つないでいるテレビやオーディオ機器のサラウンドの設定は「切」にしてください。
- より高いサラウンド効果を得るには、スピーカーはリスニングポジションから距離的にも環境的にも左右対称になるように設置します。
- 「TVS ナイト」の効果の度合はディスクによって異なります。
- DIGITAL OUT (OPTICAL または COAXIAL) 端子や HDMI OUT 端子を使っている場合に、「オーディオ設定」の「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、「DTS」を「入」に設定すると、スピーカーから音声は出力されますが、サラウンド効果はなくなります。
- 早見再生や遅見再生中に設定を変えることはできますが、TVS 機能は働きません。

MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルについて

MP3/JPEG とは?

MP3 は ISO/IEC MPEG 規定に準じた音声圧縮技術です。
JPEG は映像圧縮技術です。
MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを含んだデータ CD/ データ DVD を再生することができます。

再生可能なデータ CD/ データ DVD

本機では MP3（MPEG-1 Audio Layer III）や JPEG で記録されたデータ CD やデータ DVD を再生することができます。ただし再生できるのは ISO9660 のレベル 1/ レベル 2/Joliet 準拠で記録されたデータ CD と、Universal Disk Format（UDF）で記録されたデータ DVD に限られます。
記録方式について詳しくは、ディスクドライブまたは書き込み用ソフトウェア（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本機ではパケットライト方式で作成されたデータ CD/ データ DVD を再生できないことがあります。

再生可能な MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル

本機では次のような MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルを再生することができます。

- 「.MP3」の拡張子のある MP3 音声トラック。
- 「.JPG」、「.JPEG」の拡張子のある JPEG 画像ファイル。
- DCF* 画像ファイル形式に準拠している JPEG 画像ファイル。

* 「カメラファイルシステムのデザイン規定」：電子情報技術産業協会（JEITA）によって規定されたデジタルカメラの画像標準

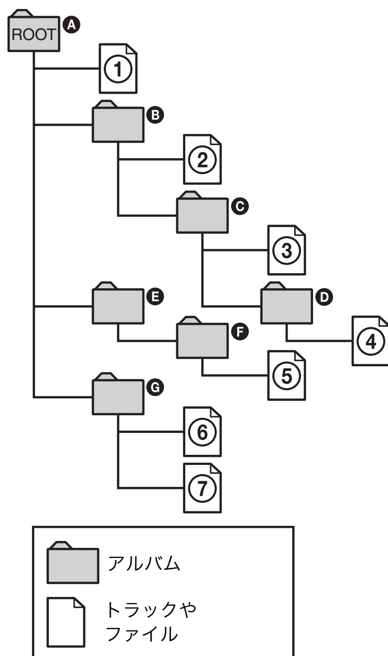
ご注意

- MP3 や JPEG 形式以外のデータに「.MP3」または「.JPG」「.JPEG」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機は mp3PRO で記録された音声には対応していません。
- JPEG 画像ファイルによっては、再生できないものがあります。
- ビデオ /JPEG 混在ディスクを入れた場合、本機はビデオタイトルのみ再生できます。

アルバムやトラック、ファイルの再生順序について

アルバムは以下の順序で再生します。

◆ディスク内の構造



データ CD/ データ DVD を本機に入れて ▷ を押すと、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦ の順序でトラックやファイルを再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックやファイルが次のアルバムより優先されます。（例：C は D を含んでいるので ⑤ より ④ が優先される）

メニューボタンを押したときに表示されるアルバム一覧（54 ページ）では、A→B→C→D→F→G の順でアルバム名が並びます。トラックやファイルを直下に含まないアルバム（例：E）はアルバム一覧に表示されません。

ヒント

- ディスクにトラックやファイルを記録するときは、あらかじめトラック / ファイル名の頭に数字（01、02、03 など）を入れておくと、その数字の順番に再生することができます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにすることをお勧めします。

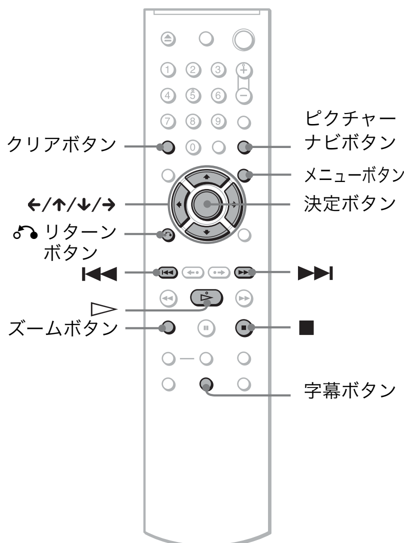
ご注意

- データ CD/ データ DVD に記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては上図の順序で再生されないことがあります。
- アルバム数が 200 以上、または各アルバムのトラック数およびファイル数の合計が 300 以上のときは、左図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された200番目のアルバムまで本機は認識できます（このときの数え方は、MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを含まないアルバムも数に入れてアルバムのみを数えます）。それより後のアルバムは本機では再生できません。
- 再生順が次のアルバムや、それを飛び越して他のアルバムに進むときは、再生に時間がかかる場合があります。

MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを再生する

DATA CD **DATA DVD**

本機では、データ CD やデータ DVD に記録されている MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルを再生できます。



ヒント

MP3 音声トラックを再生中に、ディスク情報を見ることができます（32 ページ）。

ご注意

- データ CD を入れると、KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）は、自動的に再生を始めます。
- データCD/データDVDにMP3音声トラックやJPEG 画像ファイルがない場合、「オーディオデータがありません」または「画像データがありません」というメッセージが画面に表示されます。

アルバムを選ぶ

1 メニューボタンを押す。

データ CD/ データ DVD に記録されているアルバムの一覧が表示されます。再生中のアルバム名は薄暗く表示されます。

2 ↑/↓で再生したいアルバムを選ぶ。

3 ▷ を押す。

選んだアルバムから再生が始まります。

MP3 音声トラックを選んで再生するには、「MP3 音声ファイルを選んで再生する」をご覧ください。

JPEG 画像ファイルを選んで再生するには、「JPEG 画像ファイルを選んで再生する」をご覧ください（55 ページ）。

再生を止めるには

■ を押します。

次または前のページを表示するには

→ または ← を押します。

画面表示を消すには

メニューボタンを繰り返し押します。

ヒント

「音声映像選択モード」（57 ページ）を設定して、再生するデータの種類（MP3 音声トラックのみ、JPEG 画像ファイルのみ、または両方）を選ぶことができます。

MP3 音声トラックを選ぶ

1 「アルバムを選ぶ」の手順 2 のあとで、決定ボタンを押す。

アルバム内のトラックの一覧が表示されます。

2 ↑/↓ でトラックを選び、決定ボタンを押す。

選んだトラックから再生が始まります。

再生を止めるには

■ を押します。

次または前のページを表示するには

→ または ← を押します。

前の画面表示に戻すには

↩ リターンボタンを押します。

次または前の MP3 音声トラックを再生するには

再生中に ▶▶I または I◀◀ を押します。
再生中のアルバムの最後のトラックで ▶▶I を押すと、次のアルバムの最初のトラックを選べます。
I◀◀ で前のアルバムのトラックに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

JPEG 画像ファイルを選ぶ

1 「アルバムを選ぶ」の手順 2 のあとで、ピクチャーナビボタンを押す。

アルバム内の画像ファイルが 16 個の小画面で表示されます。スクロールボックスが右側に表示されます。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

さらに表示したいときは、最下段の画像を選び ↓ を押します。前の画面に戻るには、最上段の画像を選び ↑ を押します。

2 ←/↑/↓/→ で再生したい画像を選び、決定ボタンを押す。

選んだ画像が画面に表示されます。

次または前の JPEG 画像ファイルを表示するには

再生中に → または ← を押します。再生中のアルバムの最後のファイルで → を押すと、次のアルバムの最初のファイルを選べます。
← で前のアルバムのファイルに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

JPEG 画像を回転するには

画像を見ながら、↑/↓ を押します。↑ を押すと左回りに ↓ を押すと右回りに、90 度ずつ回転します。
通常に戻すにはクリアボタンを押します。
←/→ で前または次の画像を選択しても、通常に戻ります。

JPEG 画像を拡大するには（ズーム）

画像を見ながらズームボタンを押します。
画像を 4 倍まで拡大させることができます。←/↑/↓/→ で拡大した範囲を動かすこともできます。
実際の大きさに戻すには、クリアボタンを押します。

◆ズームボタンを 1 回押したとき（×2）

元の大きさの 2 倍に拡大します。

◆ズームボタンを 2 回押したとき（×4）

元の大きさの 4 倍に拡大します。

JPEG 画像情報を表示するには

JPEG 画像を見ながら字幕ボタンを押します。
ファイル名、カメラのメーカー / 機種名、日付、時間、解像度、ファイルサイズ、カメラの設定情報（ISO 感度、露出時間、F ナンバー、露出補正、焦点距離）が画面に表示されます。
撮影時にフラッシュをたいていた場合は、⚡が表示されます。
画像が自動で回転されている場合は、⬚が表示されます。
表示を消すには字幕ボタンを押します。
デジタルスチルカメラによっては、これらの情報は表示されない場合があります。

➡ 次のページへつづく

画像の表示を止めるには

■ を押します。

ヒント

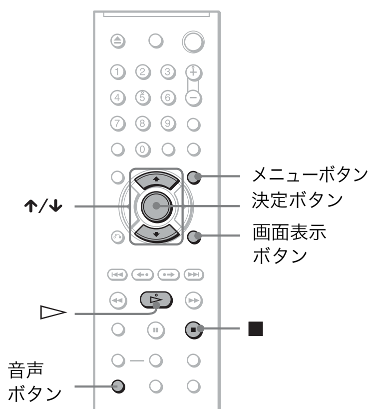
- JPEG 画像ファイルを再生中に、「スライド送り時間」（58 ページ）や「スライド効果」（59 ページ）、「シャープネスの設定」（39 ページ）を変更することもできます。
- 「音声映像選択モード」を「映像（JPEG）」に設定すると、MP3 音声トラックなしで JPEG 画像ファイルのみを再生できます（57 ページ）。
- コントロールメニューの「日付」の欄には、デジタルカメラで撮影した日付が表示されます（ただしデジタルカメラによっては表示されない場合があります）（15 ページ）。

ご注意

- 「音声映像選択モード」が「音声（MP3）」に設定されていると、ピクチャーナビボタンは使用できません（57 ページ）。
- JPEG 解像度の設定内容によっては、回転やズームなどの効果は得られなくなります。詳しくは、（67 ページ）をご覧ください。

JPEG 画像をスライドショーとして楽しむ DATA CD DATA DVD

データ CD/ データ DVD に含まれている JPEG 画像ファイルを、スライドショーとして再生することができます。



1 メニューボタンを押す。

データ CD/ データ DVD に記録されているアルバムの一覧が表示されます。

2 ↑/↓で再生したいアルバムを選ぶ。

3 ▷ を押す。

選んだアルバムの JPEG 画像ファイルのスライドショーが始まります。

再生を止めるには

■ を押します。

ご注意

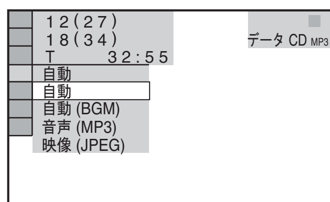
- ↑/↓ またはズームボタンを押すと、スライドショーは停止します。スライドショーを再開するときは ▷ を押します。
- 「音声映像選択モード」が「音声（MP3）」に設定されていると、この機能は使用できません。

スライドショーを音声付きで再生する

MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルをデータ CD/ データ DVD 内の同じアルバムに入れておくと、スライドショーを音声付きで楽しむことができます。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で DATA（音声映像選択モード）を選び、決定ボタンを押す。
「音声映像選択モード」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「自動」（お買い上げ時の設定）を選び、決定ボタンを押す。
下線の項目がお買い上げ時の設定です。

- 自動：JPEG 画像ファイルを MP3 音声トラックと一緒に再生します。
  MP3 ファイルがない場合、本機内蔵の BGM と一緒に再生されます。
- 自動（BGM）
  JPEG 画像ファイルを本機内蔵の BGM と一緒に再生します。画像を見ながら音声ボタンを繰り返し押して BGM を選んでください。MP3 音声トラックを選択すれば MP3 音声を楽しめます。
- 音声 (MP3)：MP3 音声トラックのみを続けて再生します。
- 映像 (JPEG)：JPEG 画像ファイルのみを続けて再生します。

4 メニューボタンを押す。
データ CD/ データ DVD に記録されているアルバムの一覧が表示されます。

5 ↑/↓で再生したいMP3音声トラックと JPEG 画像ファイルの両方が入っているアルバムを選ぶ。

6 ▷ を押す。
選んだアルバムの音声付きスライドショーが始まります。

ヒント
- ひとつのアルバムに含まれる MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルの両方をリピート再生したいときは、「音声映像選択モード」で「自動」または「自動（BGM)」に設定し、トラックリピート / アルバムリピートを設定してください。詳しくは「繰り返し再生する（リピート再生)」（36 ページ）をご覧ください。
- 選択したモードとは関係なく、本機は最大 200 アルバムまで認識できます。コントロールメニューの「音声映像選択モード」で「自動」や「自動（BGM)」を選んだときは、各アルバム内の MP3 音声トラックを 300、および JPEG 画像ファイルを 300 まで認識できます。「音声（MP3)」や「映像（JPEG)」を選んだときは、それぞれ 600 ずつのトラックまたはファイルが認識可能です。

ご注意
- 「映像音声選択モード」が「自動」または「自動（BGM)」に設定されているときに MP3 音声トラックのみを含むディスクを再生した場合、MP3 音声トラックのみが再生されます。
- 「映像音声選択モード」が「自動」または「自動（BGM)」に設定されているときに JPEG 画像ファイルのみを含むディスクを再生した場合、本機内蔵の BGM が再生されます。
- MP3音声トラックの再生中にJPEG画像ファイルの再生が終わった場合は、本機内蔵の背景画像が再生されます。
- JPEG画像ファイルの再生中にMP3音声トラックの再生が終わった場合は、本機内蔵の BGM が再生されます。
- 大きなファイルサイズの MP3 音声トラックデータと JPEG 画像ファイルデータでの同時再生の際に、音声が途切れることがあります。ファイル作成時、MP3 音声のビットレートは 128kbps 以下を使うことをおすすめします。128kbps 以下にしても音声が途切れる場合は、JPEG 画像ファイルのサイズを小さくしてください。

➡ 次のページへつづく

スライドショーを高画質で再生する（ブラビア プレミアムフォト）

“ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビをお使いの場合、以下の接続と設定にすることで、よりよい画質で本機の写真をご覧になれます。

1 “ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビと本機をHDMI ケーブル（別売り）で接続する。

2 テレビの映像設定を「ビデオ -A」モードにする。
「ビデオ -A」モードについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 「HDMI 設定」の「JPEG 解像度」を「ブラビア プレミアムフォト」に設定する（67 ページ）。

“ブラビア プレミアムフォト”とは

“ブラビア プレミアムフォト”とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。“ブラビア プレミアムフォト”対応のソニー機器同士の組み合わせで、写真を今までになかった感動のFull HD 高画質でお楽しみいただけます。人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面でお楽しみ頂けます。

ご注意

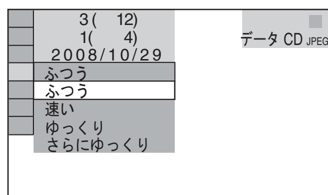
- 「ブラビア プレミアムフォト」機能は以下の条件下で有効になります：
  - ー「HDMI 設定」の「JPEG 解像度」が「ブラビア プレミアムフォト」に設定されている。
  - ー MP3 音声トラック /JPEG 画像ファイルのみを含むデータ CD/ データ DVD が挿入されている。
  - ー 本機とテレビが HDMI ケーブルで接続されている。
- 「ブラビア プレミアムフォト」実行中は、「お好み画質モード」や「シャープネス」機能は使えません。
- 「ブラビア プレミアムフォト」実行中は、本機は「画面設定」と「HDMI 設定」の、「HDMI 解像度」は「1920×1080i」、「TV タイプ」は「16:9」、「YCBCR/RGB（HDMI）」は「YCBCR」の設定で映像信号を出力します。但し、実行後は元の設定に戻ります。
- 「ブラビア プレミアムフォト」実行中は、「HDMI 設定」の「HDMI 解像度」や「YCBCR/RGB（HDMI）」、「画面設定」の「TV タイプ」は選べなくなります。
- 「ブラビア プレミアムフォト」を選ぶと、回転やズームなどの効果は得られなくなります。
- 「ブラビア　プレミアムフォト」実行中は、クイック設定中に「ＴＶ タイプ」の選択項目は飛ばされます（26 ページ）。

スライドショーの間隔を設定する（スライド送り時間）

スライドが画面に表示される時間を設定することができます。

1 JPEG 画像ファイルの再生中または停止中に、画面表示ボタンを 2 回押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （スライド送り時間）を選び、決定ボタンを押す。
「スライド送り時間」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で設定項目を選ぶ。
- ふつう（お買い上げ時の設定）：標準的な間隔で表示する。
- 速い：「ふつう」より短く表示する。
- ゆっくり：「ふつう」より長く表示する。
- さらにゆっくり：「ゆっくり」より長く表示する。

4 決定ボタンを押す。

ご注意

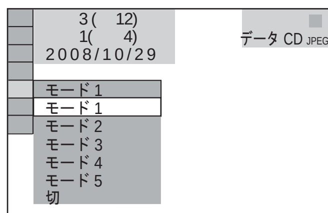
- プログレッシブ JPEG 画像ファイルや 300 万画素以上の JPEG 画像ファイルでは、表示するまでに時間がかかるものがあります。その場合、スライド送り時間が設定よりも長くなることがあります。
- スライドの送り時間は「HDMI 設定」の「JPEG 解像度」の設定により変わります（67 ページ）。

スライドの表示のしかたを設定する（スライド効果）

スライド切り換え時の効果を選ぶことができます。

1 **JPEG 画像ファイルの再生中または停止中に、画面表示ボタンを 2 回押す。**

2 **↑/↓ で （スライド効果）を選び、決定ボタンを押す。**
「スライド効果」の設定項目が表示されます。



3 **↑/↓ で設定項目を選ぶ。**
- モード 1：ランダムに選ばれたスライド効果が適用されます。
- モード 2：次の画像が前の画像に重なって表示されます。
- モード 3：画像が上から下に向かって表示されます。
- モード 4：画像が左から右に向かって表示されます。
- モード 5：画像が画面中央から外側に向かって表示されます。
- 切：スライド効果は働きません。

4 **決定ボタンを押す。**

ご注意

- JPEG 画像ファイルに回転情報がある場合、この設定は無効になります。
- JPEG解像度の設定内容が「ブラビア　プレミアムフォト」や「 (1920X1080i) HD ロ」、「 (1920X1080i) HD 」の場合、スライド効果は得られなくなります。詳しくは、（67 ページ）をご覧ください。

設定と調整

設定画面を使う

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVD の字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目について詳しくは、61 ～ 68 ページをご覧ください。

ご注意

あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。

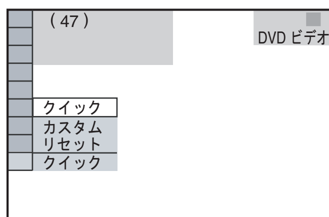
電源ボタン
数字ボタン
↑/↓
決定ボタン
画面表示ボタン
▷

1 停止中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （設定）を選び、決定ボタンを押す。

「設定」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「カスタム」を選び、決定ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

言語設定

画面表示言語:	日本語
メニュー言語:	日本語
音声言語:	オリジナル
字幕言語:	日本語

4 ↑/↓ で「言語設定」、「画面設定」、「視聴設定」、「オーディオ設定」、「HDMI 設定」の中から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

選択した項目の画面が表示されます。
例：「画面設定」

選択した項目

画面設定

TVタイプ:	16:9
スクリーンセーバー:	入
背景画面:	ジャケットピクチャー
プログレッシブ（コンポーネント映像出力のみ）:	切
プログレッシブ変換モード:	自動
4:3 出力:	フル

項目

5 ↑/↓ でさらに設定項目を選び、決定ボタンを押す。

設定項目の内容が一覧表示されます。
例：「TV タイプ」の設定内容

画面設定

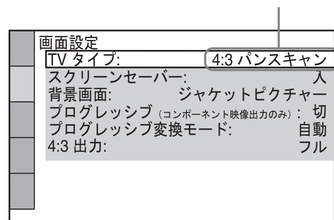
TVタイプ:	16:9
スクリーンセーバー:	16:9
背景画面:	4:3 レターボックス
プログレッシブ（コンポ	4:3 パンスキャン
プログレッシブ変換モード:	自動
4:3 出力:	フル

設定内容

6 ↑/↓ で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。

例：「4:3 パンスキャン」



クイック設定をするには

手順 3 で「クイック」を選んで、決定ボタンを押すとクイック設定ができます。「手順 6：クイック設定をする」（26 ページ）の手順 5 以降にしたがって、設定していきます。

お買い上げ時の設定に戻すには

1 手順 3 で「リセット」を選び、決定ボタンを押す。

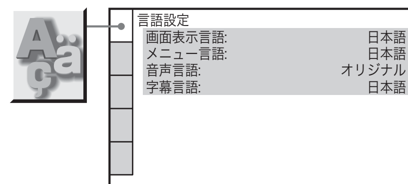
2 ↑/↓ で「はい」を選ぶ。
「いいえ」を選び決定ボタンを押すと、コントロールメニュー画面に戻ります。

3 決定ボタンを押す。
すべての設定をリセットするまで数秒かかります。
リセット中はリモコンの電源ボタンや本体の I/⏻（電源）ボタンを押して、電源を切らないでください。

表示言語や音声言語の設定（言語設定）

画面や音声の言語を設定します。

設定画面で「言語設定」を選びます（「設定画面を使う」60 ページ）。



◆画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

◆メニュー言語（DVD ビデオのみ）

ディスクのメニューの言語を切り換えます。

◆音声言語（DVD ビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

◆字幕言語（DVD ビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。
「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ヒント

「メニュー言語」、「音声言語」、「字幕言語」で「その他 →」を選んだときは、言語コード一覧表（76 ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。

ご注意

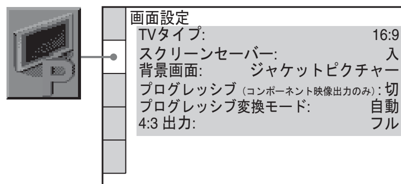
「メニュー言語」、「音声言語」、「字幕言語」で選んだ言語が DVD ビデオに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

画像に関する設定

（画面設定）

接続するテレビに合わせて設定します。

設定画面で「画面設定」を選びます（「設定画面を使う」60 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

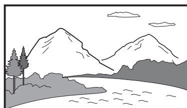


◆ TV タイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の 4：3 画面テレビ）を設定します。
「ブラビア プレミアムフォト」が実行中は、この設定は選べません（58 ページ）。

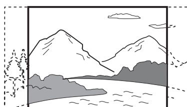
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。

16:9



4:3 レターボックス

4:3 パンスキャン



ご注意

DVD によっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

◆スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで 15 分経つか、CD やデータ CD（MP3 音声）/ データ DVD（MP3 音声）を 15 分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。▷ を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

入	スクリーンセーバーを使う。
切	スクリーンセーバーを使わない。

◆背景画面

停止中や CD あるいはデータ CD（MP3 音声）/ データ DVD（MP3 音声）再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

ジャケットピクチャー	ディスク（CD-EXTRA など）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を表示する。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される。
グラフィックス	あらかじめ本機に記録されている静止画像を表示する。
青	背景色を「青」にする。
黒	背景色を「黒」にする。

◆プログレッシブ（コンポーネント映像出力のみ）

プログレッシブ方式（525p）に対応したテレビをお使いの場合は、「入」に設定してください。プログレッシブ対応テレビは、必ず COMPONENT VIDEO OUT 端子につないでください（19 ページ）。

切	通常の信号（インターレース方式）で出力する。
入	プログレッシブ信号を出力する。

プログレッシブ信号を出力するには

1. 「プログレッシブ（コンポーネント映像出力のみ）」を選び、決定ボタンを押す。
2. 「入」を選び、決定ボタンを押す。
   確認画面が表示されます。
3. 「実行」を選び、決定ボタンを押す。
   映像が 5 秒間プログレッシブ信号に切り替わります。
4. 映像が正しく表示されていたら、「はい」を選んで決定ボタンを押す。
   映像が乱れた場合は、「いいえ」を選んで決定ボタンを押します。

設定を解除するには

映像が乱れたり見えない場合は、電源ボタンを押して電源を切り、番号ボタンで「369」と押して、次にリモコンの電源ボタンを押します。

◆プログレッシブ変換モード

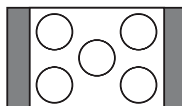
プログレッシブ映像がテレビで自然に再現されるように、再生している DVD に合わせて映像素材の変換方法を選びます。
「プログレッシブ（コンポーネント映像出力のみ）」が「入」の場合のみ、この設定は有効です。

<u>自動</u>	自動的に映像素材の種類（フィルム素材かビデオ素材）を検出し、適切な変換方法を選ぶ。通常はこの設定にする。
ビデオ	常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換する。

◆ 4:3 出力

この設定は「画面設定」の「TV タイプ」を「16:9」にしたときにのみ働きます。
アスペクト比 4:3 のプログレッシブ信号を見るときに調整してください。プログレッシブ（525p）方式対応のテレビでアスペクト比を変更できるときは、本機ではなくテレビの設定を変更してください。

<u>フル</u>	接続しているテレビでアスペクト比を切り替えられるときに選ぶ。
ノーマル	アスペクト比が固定で、テレビで切り替えられないときに選ぶ。16:9 のテレビでは左右に黒い帯が入った状態で表示される。


16:9 のテレビ

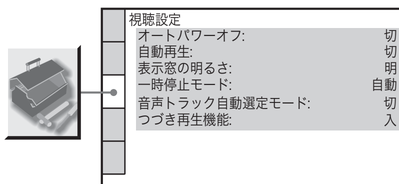
設定と調整

視聴に関する設定

（視聴設定）

再生するときの視聴に関する設定を再生などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「視聴設定」を選びます（「設定画面を使う」60 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



◆オートパワーオフ

オートパワーオフの設定をします。

切	オートパワーオフ機能を使わない。
入	ディスクを再生していないときに 30 分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスタンバイモード（待機状態）になる。

◆自動再生

電源が入ったときの動作を設定します。本機をタイマー（別売り）と接続したときに設定すると便利です。

切	自動再生しない。
入	タイマー（別売り）で電源が入ったとき、自動で再生を始める。

◆表示窓の明るさ

本体の表示窓の明るさを調整します。

明	明るくする。
暗	暗くする。
オート暗	本体またはリモコンをしばらく操作しないときに、暗くする。

◆一時停止モード（DVD のみ）

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

自動	大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られる。通常はこの設定にする。
フレーム	動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる。

◆音声トラック自動選定モード（DVD ビデオのみ）

複数の音声記録方式が記録されている DVD ビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、DTS、ドルビーデジタル）を優先して再生することができます。

切	優先しない。
入	優先する。

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（61 ページ）より優先されるためです。
- 「DTS」の設定を「切」（66 ページ）にした場合、この設定を「入」にしても DTS 音声は再生されません。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。

◆つづき再生機能（DVD ビデオ / ビデオ CD のみ）

つづき再生を設定します。設定すると 6 枚の DVD ビデオ / ビデオ CD までつづき再生を本機に記録することができます（30 ページ）。

入	6 枚のディスクまでつづき再生を記録する。
切	本機にディスクを入れたままのときを除き、つづき再生を記録しない。

ご注意

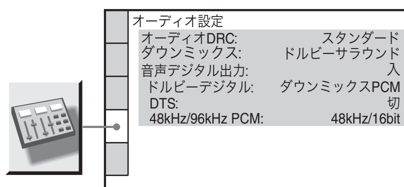
クイック設定機能を使うと、つづき再生機能の設定が解除されることがあります。

音声に関する設定

（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「オーディオ設定」を選びます（「設定画面を使う」60 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



◆オーディオ DRC（$\overset{\text{ダイナミック}}{\text{Dynamic}}$ $\overset{\text{レンジ}}{\text{Range}}$ $\overset{\text{コントロール}}{\text{Control}}$）（DVD のみ）

DVD の音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオ DRC に対応の DVD にのみ効果があります。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
- LINE OUT L/R（AUDIO）端子
-「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの DIGITAL OUT（OPTICAL および COAXIAL）端子（66 ページ）

スタンダード	通常はこの設定にする。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする。
ワイドレンジ	迫力のある音になる。

◆ダウンミックス（DVD のみ）

リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタル方式で記録されている DVD を 2 チャンネルに変換して再生するとき、この設定を切り換えます。リア音声成分（チャンネル）について詳しくは「音声信号フォーマットを確認する」（50 ページ）をご覧ください。
この設定は、次の端子からの出力に効果があります。
- LINE OUT L/R（AUDIO）端子
-「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの DIGITAL OUT（OPTICAL および COAXIAL）/HDMI OUT 端子（66 ページ）

ドルビーサラウンド	通常はこの設定にする。サラウンド用にマルチチャンネル音声を処理した 2ch で出力する。
ノーマル	ステレオ用にマルチチャンネル音声をミックスした 2ch で出力する。

◆音声デジタル出力

DIGITAL OUT（OPTICAL および COAXIAL）から音声信号を出力するかしないかを選びます。

入	通常はこの設定にする。この設定を選んだら、「音声デジタル出力の信号を設定する」を設定する（66 ページ）。
切	デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる。HDMI OUT 端子は、常に PCM で出力される。

➡ 次のページへつづく

音声デジタル出力の信号を設定する

DIGITAL OUT （OPTICAL または COAXIAL）端子に、デジタル入力端子のあるオーディオ機器や MD デッキなどの機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。
接続について詳しくは、22 ページをご覧ください。
「音声デジタル出力」で「入」を選んでから、「ドルビーデジタル」および「DTS」、「48kHz/96kHz PCM」を設定してください。
設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

ご注意

- DIGITAL OUT（OPTICAL または COAXIAL）端子を使い、「音声設定」の「ドルビーデジタル」や「DTS」をそれぞれ「ドルビーデジタル」や「入」に設定している場合、画音同期調整機能は働きません（40 ページ）。
- ドルビーデジタルまたはDTS対応機器を HDMI OUT 端子につなぎ、「音声設定」の「ドルビーデジタル」や「DTS」をそれぞれ「ドルビーデジタル」や「入」に設定している場合、画音同期調整機能は働きません（40 ページ）。

◆ドルビーデジタル（DVD のみ）

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。出力される信号のサラウンド効果の有無は「オーディオ設定」の「ダウンミックス」の設定によって決まる（65 ページ）。
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

ご注意

HDMI OUT 端子につないだ機器がドルビーデジタル信号に対応していない場合、「ドルビーデジタル」に設定していても、「ダウンミックス PCM」で出力されます。

◆ DTS

DTS 信号をデジタル出力するかしないかを選びます。

切	DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。
入	DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

ご注意

HDMI OUT 端子につないだ機器が DTS 信号に対応していない場合、「入」に設定していても、信号は出力されません。

◆ 48kHz/96kHz PCM (DVD ビデオのみ)

音声信号のサンプリング周波数を選びます。

48kHz/16bit	DVD ビデオの音声信号が 48kHz/16bit に変換されて出力される。
96kHz/24bit	96kHz/24bit を含むすべての信号がそのまま出力される。ただし、著作権保護の信号が含まれているときは 48kHz/16bit で出力される。

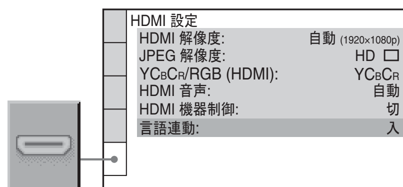
ご注意

- 音声信号が LINE OUT L/R（AUDIO）端子から出力されるときは、この設定は影響しません。サンプリング周波数は 96kHz なら 96kHz のままアナログ信号に変換されて出力されます。
- HDMI OUT 端子につないだ機器が、96kHZ/24bit 信号に対応していない場合、「96kHz/24bit」に設定していても 48kHz/16bit で出力されます。

HDMI に関する設定（HDMI 設定）

HDMI 接続の場合の色々な設定をします。

設定画面で「HDMI 設定」を選びます
（「設定画面を使う」60 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



◆ HDMI 解像度

HDMI OUT 端子からの映像の出力方法を選びます。「自動 (1920×1080p)」（初期設定）を選ぶと、テレビ側で受けられる最大の解像度で映像信号を出力します。画像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお手持ちのテレビ / プロジェクターなどに合わせた設定を試してください。詳しくは、テレビ / プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。
「ブラビア プレミアムフォト」機能（58 ページ）を実行中は、この設定は選べません。

自動 (1920×1080p)	通常はこの設定にする。
1920×1080i	1920×1080i の映像信号を出力する。
1280×720p	1280×720p の映像信号を出力する。
720×480p	720x480p の映像信号を出力する。

設定を解除するには

映像が乱れたり見えない場合は、電源ボタンを押して電源を切り、番号ボタンで「369」と押して、次にリモコンの電源ボタンを押します。

ご注意

「自動 (1920×1080p)」を選ぶと、自動的にテレビに合わせた映像信号に調整します。その他の設定では、テレビの設定にかかわらず信号をそのまま出力します。

◆ JPEG 解像度

HDMI 接続で高画質の画像を楽しむために、JPEG 解像度を選びます。
「HDMI 解像度」で「720×480p」を、または「TV タイプ」で「4：3 パンスキャン」を選んでいる場合は、設定できません。

ブラビア プレミアム フォト	「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製機器につなぐと、高精細な画像を表示する。
SD □	標準画質で表示する（黒枠あり）。
HD □	高画質の画像を表示する（黒枠あり）。*1
HD	高画質の画像を表示する（黒枠なし）。*1
(1920×1080i) HD □	1920×1080 の高解像度で表示する（黒枠あり）。*2
(1920×1080i) HD	1920×1080 の高解像度で表示する（黒枠なし）。*2

*1「 HDMI 解像度」が「 1920×1080p 」または「 1920×1080i 」のときには横方向の解像度が半分になります。
*2「(1920×1080i) HD □」と「(1920×1080i) HD」は「HDMI 解像度」で「1920x1080i」を、「TV タイプ」で「16：9」が設定されているときのみ選べます。

ご注意

- 「ブラビア プレミアムフォト」や「(1920×1080i) HD □」、「(1920×1080i) HD」に設定すると、画像の回転、ズームなどの機能は使えません。これらの機能を使いたい場合は、「SD □」や「HD □」、「HD」を選んでください。
- 「ブラビア プレミアムフォト」や「(1920×1080i) HD □」、「(1920×1080i) HD」を選ぶと、次の画像との間隔が空きます。
- データ CD やデータ DVD の出し入れの際は、HDMI 信号が一時途切れることがあります。

➡ 次のページへつづく

- 「ブラビア プレミアムフォト」を選ぶと、テレビの設定に関わらず「HDMI 解像度」から「1920×1080i」に、「TV タイプ」から「16：9」に、「YCBCR/RGB(HDMI)」から「YCBCR」に、映像信号を自動的に調整します。
- HDMI 機器と接続している場合に他の映像出力で JPEG を見る時は JPEG 解像度の設定を「SD □」に切り替えてください。

◆ YCBCR/RGB（HDMI）

HDMI OUT 端子からの HDMI 信号の出力方法を選びます。
「ブラビア プレミアムフォト」機能（58 ページ）を実行中は、この設定は選べません。

YCBCR	YCBCR 信号を出力する。
RGB	RGB 信号を出力する。

ご注意

- 再生画像の色がおかしい場合は、「RGB」を選んでください。
- HDMI OUT端子をDVI端子付の機器とつないでいる場合は、「YCBCR」を選んでいても、RGB 信号で出力します。

◆ HDMI 音声

HDMI OUT 端子からの音声の出力方法を選びます。

自動	通常はこの設定にする。ドルビーデジタルおよび DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続している時は、オーディオ設定の「音声デジタル出力」(65 ページ）で「入」を選んでから、「ドルビーデジタル」および「DTS」の設定（66 ページ）をする。
PCM	ドルビーデジタルや 96kHz/24bit PCM の信号を、48kHz/16bit PCM に変換して出力する。

ご注意

ドルビーデジタルや DTS に対応しないテレビに接続して「自動」を選ぶと、大音量が出たり、音が出ないことがあります。その場合は「PCM」を選んでください。

◆ HDMI 機器制御

HDMI 機器制御機能を設定します。

切	この機能を使わない。
入	HDMI 機器制御機能を使うときに選ぶ（21 ページ）。

ご注意

ブラビアリンク対応のソニー製テレビをお使いの場合、「切」から「入」に切り替えると、すべての対応機器は「入」の設定に変わります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

◆言語連動

本機の言語設定を、テレビの画面表示言語に合わせます。
「HDMI 機器制御」が「切」の場合は、選べません。

入	言語をテレビに連動させる。
切	この機能を使わない。

ご注意

- この機能を使う前に、すべての画面表示を消してください。
- 本機がテレビの画面表示言語に対応していない場合、本機の表示言語は変わりません。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう 1 度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ テレビの接続を確認し（19 ページ）、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換える。
➡ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子（Y/PB/PR）に本機を接続している。S 映像コードまたは映像コードで接続する。
➡ ディスクに汚れや傷がある。
➡ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部の DVD プログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。
本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビの S 映像入力端子へ接続してみる（19 ページ）。
➡ プログレッシブ信号に対応しないテレビをつないでいるときに、「画面設定」の「プログレッシブ（コンポーネント映像出力のみ）」を「入」に設定している。62 ページを参照して設定し直す。
➡ 525p のプログレッシブ信号に対応するテレビにコンポーネント映像コードでつないでいるときでも、プログレッシブに設定すると映像がぶれることがある。「画面設定」の「プログレッシブ（コンポーネント映像出力のみ）」を「切」に設定し、本機をノーマル（インターレース）方式に設定する（62 ページ）。
➡ HDCP に準拠していない機器につながれている（本機前面の HDMI ランプが点灯しない）（19 ページ）。
➡ 映像出力に HDMI OUT 端子が使われている場合、「HDMI 設定」の「HDMI 解像度」の設定を変えると解決する場合がある（67 ページ）。
➡ 本機とテレビを HDMI OUT 端子以外の映像端子でつなぎ、テレビの入力を本機からのメニュー画面が見えるように切り換える。それから「HDMI 設定」の「HDMI 解像度」の設定を変更し、テレビの入力を HDMI に切り換える。それでも映像が出ない場合は、「HDMI 解像度」の設定を変えて上記の手順を繰り返す。
➡ 「HDMI 設定」の「HDMI 解像度」の設定をリセットする。電源ボタンを押して本機の電源を切り、数字ボタンで「369」と入力し、次にリモコンの電源ボタンを押します。

HDMI OUT 端子でつないでいるが映像も音声も出ない。

➡ 以下を試してください：①本機の電源を入り切りする。②本機につないだ機器の電源を入り切りする。③ HDMI ケーブルを抜き挿しする。

➡ 次のページへつづく

設定画面の「画面設定」の「TV タイプ」で設定した画像の形で再生できない。

➡ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

音声

音が出ない。

➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ オーディオ機器の入力端子を間違えている（22 ページ）。
➡ オーディオ機器の入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
➡ 一時停止、スロー再生になっている。
➡ 早送りまたは早戻しになっている。
➡ DIGITAL OUT （OPTICAL および COAXIAL）端子または HDMI OUT 端子から音が出ないときは設定画面を確認する（65 ページ）。
➡ 音声トラック 2 が記録されていないスーパー VCD で、「2: ステレオ」、「2:1/L」、「2:2/R」を選んでいる。
➡ HDMI OUT 端子につないだ機器が音声フォーマットに対応していない。その場合は「HDMI 設定」の「音声（HDMI）」を「PCM」に設定する（68 ページ）。

HDMI OUT 端子から音声が出力されない。

➡ 以下を試してください：①本機の電源を入り切りする。②本機につないだ機器の電源を入り切りする。③ HDMI ケーブルを抜き挿しする。
➡ HDMI OUT 端子が DVI 機器につながれている（DVI 端子は音声信号を受け付けない）。

音が小さい。

➡ DVD によっては、再生時の音量が小さい場合がある。「オーディオ DRC」を「テレビ」に設定（65 ページ）すると、改善されることがある。

操作

リモコンで操作できない。

➡ リモコンの電池が消耗している。
➡ リモコンと本体との間に障害物がある。
➡ リモコンと本体との距離が離れている。
➡ 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。

再生が始まらない。

➡ ディスクが裏返しに入っている。
ラベル面（または再生できない面）を上にする。
➡ ディスクが斜めにずれて入っている。
➡ 再生できないディスクを入れている（9 ページ）。
➡ 本機で再生できない地域番号の DVD を入れている（10 ページ）。
➡ 結露している（3 ページ）。
➡ 正しくファイナライズされていない録画用ディスクを再生しようとしている（9 ページ）。

MP3 音声トラックを再生できない。

➡ データ CD が ISO9660 レベル 1/ レベル 2 または Joliet 準拠の MP3 フォーマットで記録されていない。
➡ データ DVD が UDF(ユニバーサルディスクフォーマット）準拠の MP3 フォーマットで記録されていない。
➡ ファイルの拡張子が「.MP3」以外の MP3 音声になっていない。
➡ 拡張子は「.MP3」だが、MP3 形式以外のデータでフォーマットされていない。
➡ MPEG-1 Audio Layer III 以外の音声データは本機で再生できない。
➡ mp3PRO で記録された音声データは本機で再生できない。
➡「音声映像選択モード」の設定が「映像（JPEG)」になっている（57 ページ）。

JPEG 画像ファイルを再生できない（52 ページ）。

➡ データCDがISO9660レベル1/レベル2 または Joliet に準拠する JPEG フォーマットで記録されていない。
➡ データ DVD が UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠の JPEG フォーマットで記録されていない。
➡ ファイルの拡張子が「.JPG」または「.JPEG」以外になっている。
➡ サイズがノーマルモードで 3072（幅）× 2048（高さ）以上、またはプログレッシブ JPEG で 330 万画素以上である（これ以下でも表示できない場合があります）。
➡ 画面に適合しない（映像が縮小されている）。
➡ 「音声映像選択モード」の設定が「音声（MP3）」になっている（56 ページ）。

MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルが同時に再生を始める。

➡ 「音声映像選択モード」の設定が、「自動」になっている（56 ページ）。

本機内蔵の BGM と JPEG 画像ファイルが同時に再生を始める。

➡ 「音声映像選択モード」の設定が「自動（BGM）」になっている（56 ページ）。

アルバム / トラック / ファイル名が正しく表示されない。

➡ MP3 音声を記録した際の書き込み用ソフトウエアによっては、入力した文字とは異なる文字がアルバム名 / トラック名一覧に表示されることがあります。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ プログラムまたはシャッフル、リピート、A-B リピート再生になっている（34 ページ）。
➡ つづき再生になっている（30 ページ）。

再生が自動的に始まる。

➡ 自動的に再生が始まるディスクを入れている。
➡ 設定画面の「視聴設定」の「自動再生」で「入」を選んでいる（64 ページ）。

再生が自動的に止まる。

➡ オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

停止、早見再生、遅見再生、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

音声言語を変更できない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（31 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
➡ 音声言語の切り換えを禁止している DVD を再生している。

字幕を変更できない、または消すことができない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（31 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
➡ 字幕の変更または消す事を禁止している DVD を再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（31 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
➡ 表示窓のアングル表示「」が点灯していない場面で、アングルを切り換えている（13 ページ）。
➡ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、本体電源を抜く。

画面および表示窓に 5 桁のアルファベットと数字が表示されている。

➡ 自己診断機能が働いている。73 ページの表にしたがって対応する。

ディスクが取り出せず、表示窓に「LOCKED」と表示される。

➡ チャイルドロックが設定されている（30 ページ）。

ディスクが取り出せず、表示窓に「TRAY LOCKED」と表示される。

➡ ソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口、お買い上げ店に問い合わせる。

データ CD/ データ DVD を再生中、テレビ画面に「データエラー」と表示される。

➡ MP3 音声のトラックや JPEG 画像ファイルが壊れている。
➡ MPEG-1 Audio Layer Ⅲ以外の音声を再生している。
➡ JPEG 画像ファイルの形式が DCF に準拠していない（52 ページ）。
➡ 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」だが、JPEG 形式以外で記録されている。

HDMI 機器制御機能が働かない

➡ HDMI ランプが点灯しないときは HDMI 接続を確認する（19 ページ）。
➡「HDMI 設定」の「HDMI 機器制御」を「入」に設定する（68 ページ）。
➡ つないだ機器が HDMI 機器制御機能に対応しているか確認する。接続機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ HDMI 接続を変えたために発生した場合は、電源コードを抜き挿しする。
➡ 停電が原因の場合は、HDMI で接続されている全ての機器の電源を入れた後、「HDMI 設定」の「HDMI 機器制御」をいったん「切」に設定し、もう一度「入」に設定し直す（68 ページ）。

ブラビアリンク画面が表示されない。

➡ 本機がコントロールメニュー画面などの何らかの表示を出している場合は、その画面を消し、もう一度表示し直してください。
➡ お使いのテレビで 2 画面分割モードになっていれば 1 画面モードに戻し、もう一度表示する。

画面に表示されるメニュー言語が自動で切り換わる。

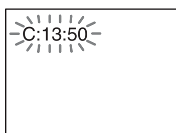
➡「HDMI 設定」の「言語連動」が「入」に設定されている場合、テレビなどつないだ機器側の言語設定が変更されたときに連動して切り換わる。

本機が自動で起動する。

➡ テレビのHDMI入力を切り換えた場合、テレビのつながれた機器を起動させる機能により、本機が自動で起動することがあります。
➡「HDMI 設定」の「HDMI 機器制御」が「入」に設定されている（68 ページ）。

自己診断機能について（数字やアルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面および表示窓にアルファベットと数字で 5 桁のサービス番号（例：C 13 50）が表示されます。その際は次の表をご確認ください。



サービス番号の最初の 3 桁	原因と対応
C 13	ディスクが汚れているか、再生非対応のフォーマットで記録されています（9 ページ）。 ➡ 柔らかい布でディスクを拭くか、ディスクを取り出してください（11 ページ）。
C 31	ディスクが正しく入っていません。 ➡ ディスクを正しく入れ直します。
E XX （XX は任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました。 ➡ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の 5 桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、ご相談窓口へお問い合わせください。詳しくは、添付の「本機の調子がおかしいと思ったら」または「ソニーご相談窓口のご案内」、裏表紙をご覧ください。

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

➡ 次のページへつづく

- 型名：DVP-NS700H
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R など）：
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

システム

形式：CD/DVD プレーヤー
信号方式：JEITA 標準、NTSC カラー方式

出力端子

（**端子名：**端子形状 / 出力レベル / 負荷インピーダンス）

LINE OUT AUDIO L/R：
ピンジャック /2 Vrms/10 kΩ

DIGITAL OUT OPTICAL：
光出力コネクター / − 18 dBm
（発光波長 660 nm）

DIGITAL OUT COAXIAL：
ピンジャック /0.5 V_{P-P}/75 Ω

HDMI OUT：
19 ピン標準コネクタ

COMPONENT VIDEO OUT
(Y、P_B/C_B、P_R/C_R)：ピンジャック /
Y: 1.0 V_{P-P}、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7 V_{P-P}/75 Ω

LINE OUT VIDEO：
ピンジャック /1.0 V_{P-P}/75 Ω

S1 VIDEO OUT：
4 ピンミニ DIN/ 輝度信号：1.0 V_{P-P}、
色信号：0.286 V_{P-P}/75 Ω

電源、その他

電源：AC 100V、50/60 Hz
消費電力：11W
最大外形寸法：
430 × 43 × 207.2 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（最大突起部分を含む）
質量：約 1.7 kg
許容動作温度：5 〜 35 ℃
許容動作湿度：25 〜 80 %

付属品

18 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

言語コード一覧表

詳しくは 49、61 ページをご覧ください。
言語名表記は ISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1183	Irish	1347	Maori	1507	Samoan
1028	Abkhazian	1186	Scots Gaelic	1349	Macedonian	1508	Shona
1032	Afrikaans	1194	Galician	1350	Malayalam	1509	Somali
1039	Amharic	1196	Guarani	1352	Mongolian	1511	Albanian
1044	Arabic	1203	Gujarati	1353	Moldavian	1512	Serbian
1045	Assamese	1209	Hausa	1356	Marathi	1513	Siswati
1051	Aymara	1217	Hindi	1357	Malay	1514	Sesotho
1052	Azerbaijani	1226	Croatian	1358	Maltese	1515	Sundanese
1053	Bashkir	1229	Hungarian	1363	Burmese	1516	Swedish
1057	Byelorussian	1233	Armenian	1365	Nauru	1517	Swahili
1059	Bulgarian	1235	Interlingua	1369	Nepali	1521	Tamil
1060	Bihari	1239	Interlingue	1376	Dutch	1525	Telugu
1061	Bislama	1245	Inupiak	1379	Norwegian	1527	Tajik
1066	Bengali; Bangla	1248	Indonesian	1393	Occitan	1528	Thai
1067	Tibetan	1253	Icelandic	1403	(Afan)Oromo	1529	Tigrinya
1070	Breton	1254	Italian	1408	Oriya	1531	Turkmen
1079	Catalan	1257	Hebrew	1417	Punjabi	1532	Tagalog
1093	Corsican	1261	Japanese	1428	Polish	1534	Setswana
1097	Czech	1269	Yiddish	1435	Pashto; Pushto	1535	Tonga
1103	Welsh	1283	Javanese	1436	Portuguese	1538	Turkish
1105	Danish	1287	Georgian	1463	Quechua	1539	Tsonga
1109	German	1297	Kazakh	1481	Rhaeto-Romance	1540	Tatar
1130	Bhutani	1298	Greenlandic	1482	Kirundi	1543	Twi
1142	Greek	1299	Cambodian	1483	Romanian	1557	Ukrainian
1144	English	1300	Kannada	1489	Russian	1564	Urdu
1145	Esperanto	1301	Korean	1491	Kinyarwanda	1572	Uzbek
1149	Spanish	1305	Kashmiri	1495	Sanskrit	1581	Vietnamese
1150	Estonian	1307	Kurdish	1498	Sindhi	1587	Volapük
1151	Basque	1311	Kirghiz	1501	Sangho	1613	Wolof
1157	Persian	1313	Latin	1502	Serbo-Croatian	1632	Xhosa
1165	Finnish	1326	Lingala	1503	Singhalese	1665	Yoruba
1166	Fiji	1327	Laothian	1505	Slovak	1684	Chinese
1171	Faroese	1332	Lithuanian	1506	Slovenian	1697	Zulu
1174	French	1334	Latvian; Lettish			1703	無指定
1181	Frisian	1345	Malagasy				

地域コード一覧表

詳しくは 42 ページをご覧ください。

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044	カナダ	2079	チリ	2090	フィンランド	2165
イギリス	2184	韓国	2304	デンマーク	2115	ブラジル	2070
イタリア	2254	シンガポール	2501	ドイツ	2109	フランス	2174
インド	2248	スイス	2086	日本	2276	ベルギー	2057
インドネシア	2238	スウェーデン	2499	ニュージーランド	2390	ポルトガル	2436
オーストラリア	2047	スペイン	2149	ノルウェー	2379	マレーシア	2363
オーストリア	2046	タイ	2528	パキスタン	2427	メキシコ	2362
オランダ	2376	中国	2092	フィリピン	2424	ロシア	2489

索引

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「102」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型
インキを使用しています。

Printed In Malaysia

3-283-148-**02**(1)